

Shibaura
Institute of
Technology

2018 June Vol.23

校友会
だより

創立100周年に向けてスタート!



芝浦工業大学校友会の概要と活動について

校友会は、昭和3年に発足しました。本部を東京都港区に設置し、海外（台湾・シンガポール・タイ王国・上海）を含む北海道から沖縄までの地域に居住している卒業生で構成される地域支部、官庁や企業などに在職や退職の卒業生で構成される職域支部、学科支部、研究グループ・スポーツ等共通するグループの卒業生で構成される同好支部など現在91の支部を組織し、本部と連携して下記のような活動を行っています。

なお、校友会の目的は、会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会活動の増進に寄与すると共に母校の教育研究事業を援助し、母校の発展に寄与することとしております。

平成29年度実施の校友会活動の一部を列記しますと

- 1、在校生への就職支援活動
- 2、在校生の研究・実習活動への協力・卒業生による実学サロンの開催
- 3、在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
- 4、入学生への校歌CDの贈呈
- 5、新卒業生への記念品の贈呈
- 6、母校開催父母懇談会への協力
- 7、母校開催のホームカミングデーへの協賛
- 8、母校開催の賀詞交歓会への協賛
- 9、母校記念事業への協力
- 10、箱根駅伝予選会出場への支援活動
- 11、校友会全国総会、賀詞交歓会の開催
- 12、校友会各支部への活動支援
- 13、全国卒業生の名簿編纂及び追補版発行
- 14、資格取得講座の提供
- 15、校友倶楽部の活用

などとなっております。また、来年度以降も各種の事業活動の協賛・支援等を含めさまざまな活動を行ってまいります。校友会は、これらの活動を通じて、芝浦工業大学の在校生、後援会及び教職員との連携及び協力関係を密にすることにより大学の社会的基盤をさらに強固なものとしたたく活動して参ります。今後とも校友会活動にぜひご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

目次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について	箱根駅伝	9
役員挨拶	shiba-Jo プラチナネットワーク	10
会長挨拶	実学サロン	12
委員会挨拶	支部活動報告	14
総務広報委員会	“支部旗”全国にひるがえる	39
財務委員会	校友会「会員名簿」について	39
事業委員会	芝浦工業大学校歌CDの販売	39
組織委員会	常任幹事会、相談役・顧問名簿	42
例規委員会	支部及び支部長紹介	43
特別委員会	校友サロン利用のお願い	44
役員紹介	資格取得講座のご案内	45
常任幹事会議長紹介	校友会本部事務局紹介	46
理事長挨拶	大学オリジナルグッズのご紹介	46
学長挨拶	芝浦工業大学創立90周年記念誌	47
	在校生就職支援ご協力をお願い	48
	編集者・協力者紹介	48
	広告	49

会長挨拶



芝浦工業大学 校友会

会長

鈴木 健夫

建築学科 昭和45年卒業

全国の校友の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は母校創立90周年で11月1日には帝国ホテルにて盛大に祝賀会が開催され国内外の大学関係者、全国の多くの卒業生が参加されました。

今年は100周年に向けて第一歩を踏み出しました。100周年にはアジアの理工系大学ベスト10を目標にすると村上学長が宣言をしています。

本年度の入学試験の志願者数は41,734名（昨年38,598名108%増）と過去最高を記録致しました。これも大学の高評価によるものであり卒業生としても大変うれしいニュースです。

今年は校友会の創立90周年に当たります。大学が出来た翌年昭和3年に校友会が発足しています。

当時の校友会規則には会員として卒業生、在學生、教職員、維持員、評議員と有ります。創立者有元史郎先生は学園全体の親睦を目的とされて作られたわけです。

爾来今日まで90年間、校友会は連綿と先輩から後輩に受け継がれ、時代の変化に対応しながら歴史と伝統を大切に発展してきました。

本年も6月9日（土）に品川プリンスホテルにて全国総会が開催されます。

ご予約のつく方は是非参加して頂きたいと思います。

又、皆様ご存知だと思いますが今年の1月2日の第94回箱根駅伝には本学で初めて矢澤健太君（土木工学科4年）が出場し1区を完走致しました。

大学チーム予選会では49大学中の30位でしたが矢澤君は個人記録で関東学連選抜チームに選ばれましたが、補欠の1番手で出場出来るかは微妙でした。校友会は出場できた場合を想定し、応援計画を練り周到に準備を重ねて当日の応援に繋がりました。

全国に芝浦のゼッケンを胸に走る矢澤君と芝浦の応援旗を持ち応援する沢山の卒業生の姿が放映されました。必死で頑張る矢澤君の姿に皆、感動をした1日でした。校友会として応援を始めて10年目の成果でした。

チームとしての本戦出場は推薦入学等の大学の体制が出来ないと難しいわけですが、関東学連選抜の可能性は今後とも充分期待できますので引き続き校友会としての支援をしていきたいと思ひます。矢澤君は神奈川県庁に就職が決まっております、今後とも市民ランナーとして走り続けるとのことでした。

今年（2018年卒業）の就職状況は好調に推移し現在（3月1日現在）98%位の見込みです。校友会は在校生就職支援委員会（委員14名）を4年前に組織し大学のキャリアサポート部門と毎月打合せを重ねてきました。5年前の89%に比べますと世の中の景気拡大とも重なり随分改善されてきましたが我々は就職希望者は100%就職させようとの思いで活動をしています。全国の卒業生の関係企業にもお願いをしていますので皆様方のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

最後に卒業生ならびに、ご家族の皆様のご繁栄、ご健勝を心から祈念申し上げます。

副会長・総務広報委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長
林田 和雄
建築学科
昭和52年卒業

校友会歴
平成11年 常任幹事就任
平成15年 副会長就任 現在に至る

経歴
昭和52年 設計事務所勤務
平成11年 港区議会議員 現在に至る

鈴見会長を中心に新体制で執行役員会が発足しました。また常任幹事の人数枠が拡大され、重層な執行体制のもと意気軒高に前進しています。これも偏に全国の校友の皆様のご支援のおかげであり、心より御礼と感謝を申し上げます。

新体制で発足した総務広報委員会は14名の陣容でスタートさせて頂きました。大先輩の皆様から社会の第一線で働く方々、社会に貢献する多様な人材である女性などが集結しています。この体制で本学の発展、校友会事業の円滑な執行を後押しして参ります。

総務広報委員会の主な所管事項は、広報活動の充実、校友会だよりの発行、実学サロンの立案と運営、全国の校友との情報の共有化をすめ、校友会活動の拡大を図って参る事です。

本学がスーパーグローバル大学として採択され4年が経過しました。私立理工学系大学としては日本で唯一の存在であり、その姿は益々期待をもって見られています。

昨年は創立90周年という節目でしたが、本年は100周年を目指して出発の年でもあります。2027年創立100周年は既に間近に迫っていると言っても過言ではありません。こうした時期だからこそ、卒業生一人ひとりが10年後の目標を明確にしながら前進することが重要です。

また今後、校友会は組織の国際化を確実に歩まねばなりません。昨年はシンガポール支部や上海支部など多くの海外支部が発足しました。校友の皆さんが海外で活躍する後押しができる校友会でありたいと思います。

更に女性の活躍をささえ、その力を校友会に注いでいただける組織づくりが重要であります。おかげさまで校友会は一昨年から社会で活躍される女性卒業生が常任幹事を務めて頂ける体制ができました。女性の視点を大事にしながら、校友会は世界に開かれた活動を展開しなければなりません。

本学が理工学教育の改革の旗手となり、世界へ人材を輩出するフォートレスたることを心に刻むとともに、本学の発展に貢献できる喜びをお伝えし、総務広報委員会を代表してのご挨拶と致します。

総務広報委員会 活動内容

- ・ 広報活動の充実
 - ① 校友会HPの充実
 - ② 各支部活動の支援体制の強化
 - ③ 校友会だよりの発行
- ・ 実学サロンの開催
- ・ 職員の労働環境の充実

副会長・財務委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長
吉池 富士夫
金属工学科
昭和51年卒業

校友会歴
平成27年 埼玉支部長・常任幹事
平成29年 副会長・財務委員長 大学評議員（校友会選出）

経歴
平成28年6月まで 株LIXIL 専務執行役員
平成28年7月～ 飯田グループホールディングス(株) 執行役員

昨年の役員改選で副会長に加え、財務委員長を拝命する事になりました。埼玉支部では泉澤先輩から支部長を引継ぎ、多くの支部会員と共に活動を進めております。

以来、日頃は校友会の皆様には何かとご尽力ご助言いただいておりますこと、先ずもって御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

さて財務委員会は、毎年の校友会活動の基になっている各委員会からの年度予算要求を調整し、執行役員会で審査調整後、常任幹事会の審査承認を経て全国総会で最終承認を決定していることは、既に多くの方々にご理解を頂いているところです。

更に予算通り執行されているか確認をして、翌年の全国総会でご報告する大変重要な活動事項を担当させて頂いていると深く認識しております。

昨年は大学創立90周年記念事業を皆様と共に盛大に祝いましたが、今年は次の大学創立100周年に向け、新たにスタートする年でもあります。

皆様と共に芝浦工業大学のブランド価値を更に高めるべく活動して参りましょう。今後ともご支援を賜れば幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

財務委員会 活動内容

- ・ 基本財産及び流動資産の整理、統合、管理の徹底
- ・ 予算書、決算書の作成
- ・ 補正予算の対応
- ・ 会計監査対応

副会長・事業委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

釜井 重一

建築学科
昭和55年卒業

校友会歴

平成16年 職域支部『三芝会』支部長
平成29年 副会長・事業委員長

経歴

昭和55年 三井建設入社
平成30年 三井住友建設定年退職

『継続は力なり』

校友の皆様、校友会の活動に御理解、御協力を頂き、誠にありがとうございます。

最初に上げさせて頂いた言葉は、私が所属していた職域支部のモットーです。

総会を開催するにも全国に散らばった第一線でバリバリ働いている若者をどう集めるか、現役社員が会員である職域支部では、常に頭を悩ませている事と思います。

そこで『継続は力なり』を心に刻み、少しずつでも前進していこうとしています。

支部の規模は様々ですが、全国の校友会支部は同様の悩みを抱えていると思います。

事業委員会では、実行委員の皆様と、毎年6月の第2土曜日開催の全国総会・懇親会を校友の親睦の場として提供し一大イベントと捉えています。

そのため如何に魅力あるイベントにするかと常に頭を悩ませています。

今年はアンケートで要望が多かった品川プリンスホテルアネックスタワーを会場として昨年同様、開催する事と致しました。社会の第一線で頑張っている全国の校友の一時の息抜きの場所として、また出席したいと思って頂けるよう魅力ある会にできるよう頑張ります。

大学のための、在校生のための、もちろん卒業生のための校友会を、次の世代に引き継いでいくためにも『継続は力なり』を心に頑張っていく所存です。

今後とも御支援賜りますよう、宜しく願い致します。

事業委員会 活動内容

- 1) 全国総会懇親会の企画運営
- 2) 新年賀詞交歓会の企画運営
- 3) 校友クラブ運営
- 4) 他・大学開催事の協力等

副会長・組織委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

中村 行男

建築学科
昭和56年卒業

校友会歴

平成24年～現在 清水建設芝浦会 支部長
平成26年～ 常任幹事
平成29年～ 副会長・組織委員長

経歴

昭和56年 清水建設(株)に入社
平成27年 清水建設(株) 東京支店西東京営業所施工図
センター所長 現在に至る

校友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて組織委員会の主な活動としては、若手卒業生や女性卒業生の校友会活動への参加・支援を促すことがあげられます。女性卒業生の会「Shiba-jo プラチナネットワーク」の活動支援はもちろん、若手卒業生にも校友会の幹事になって頂き、活動に参加してもらう等、進めて行きたいと思っております。

更にSGU（スーパーグローバル大学）としてグローバル化を推進している本学と共に、校友会も国際化への活動が必要です。そのためには校友会海外支部展開を図るために卒業生の掘り起こしを行い、現地駐在員、留学生のネットワークを築き、海外支部設立の展開を図ります。

また国内においては、学科支部、同好支部、職域支部等の支部を増やす活動も重要です。昨年は、12月に不動産建設芝浦会支部が90番目の支部として設立されました。今後も支部の設立を積極的に展開するのは当然ですが、休眠化している支部の活性化も重要です。

地方支部の活性化を図るためには卒業生の掘り起こしや、支部総会等の機会を活用し、本部と支部間の情報交換、情報共有が必要です。

更に後援会とは、父母懇談会、定期交流会等で連携強化を図り、校友会組織全体の活性化・拡充を目指して参ります。

「組織委員会」といたしまして、校友会と母校芝浦工業大学の益々の発展と「芝浦ブランド」のブランド力アップのため、活動を進めて参ります。

今後とも、ご支援の程、宜しく願い致します。最後になりましたが、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

組織委員会 活動内容

- ・若手卒業生、女性卒業生の校友会参加促進
- ・支部の拡大と活性化（学科支部、同窓支部、職域支部）
- ・海外支部新規設立
- ・地方支部の活性化
- ・後援会との活動強化

副会長・例規委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

本間 哲哉

電子工学科
昭和 56 年 卒業

校友会歴

平成29年10月まで 東京総支部 副支部長
平成24年12月～現在 芝浦技術士会支部 副支部長

経歴

昭和58年4月～平成8年3月
日本電気株式会社
平成8年4月～現在 芝浦工業大学工学部 電子工学科

平成 29 年 6 月に常任幹事、同年 7 月に副会長に就任いたしました。新体制になり例規委員長を拝命いたしました。

現在、例規委員会は委員 12 名と顧問 1 名の全 13 名で構成しております。例規委員会では、例規(会則、規則、内規)を精査し、不具合な点や時代にそぐわない部分を抽出し、実態と整合がとれるような規程に改訂しております。最終的に例規集第 3 刊の発刊を目標に、審議を重ねております。

現在、大学はグローバル化が進展し留学生も増加しているため、海外支部の強化が重要と考えています。また、学内のみで完結する自由な教育・研究のみでは不十分であり、研究成果の社会への還元が必須になっています。このような状況にある母校の 100 周年に向けた改革と、校友会の今後の発展のためにも、校友会本部・支部と母校との連携をさらに強化していく必要があります。

私は、校友会会員と母校教員の両方の立場から、副会長・例規委員長の業務と併せて、在校生や OB・OG 母校教員への継続的な支援をしていきたいと考えております。また、多様な視点から、大学の各担当部署との連携・調整にも努めてまいります。

今後、校友会諸先輩のご意見を賜りながら、微力ではありますが、校友会と母校のさらなる発展のために努力してまいります。校友会の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

例規委員会 活動内容

- ・現状の会則・規則及び内規の整理と精査
- ・例規改廃の審議
- ・最終目標：例規集第 3 刊の発刊

副会長・特別委員会委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

加藤 善次郎

機械工学科
昭和 55 年 卒業

校友会歴

平成12年 常任幹事就任
平成15年より 常任幹事会議長、副会長(財務、特別委員会委員長)の役職に就任 現在に至る

経歴

昭和60年 (株)日本環境設計 設立と同時に取締役就任
平成24年 (株)日本環境設計 代表取締役社長就任
現在に至る

昨年より、校友会副会長として執行役員の末席に再度就かせて頂きました。校友会の執行役員としては、過去に常任幹事会議長を 2 期、副会長(財務委員長)を 2 期務めさせて頂きました。今回、初めて特別委員長に就任させて頂きました。前任の枝広先生の名を汚さないように務めさせて頂く所存です。

特別委員会は、現理事長の五十嵐久也理事長が校友会会長時代に、全国の校友会の活性化を目的に、母校の学生が箱根駅伝を駆け抜ける姿を正月の 2 日と 3 日に目にすることにより、潜在する母校愛を再発掘し、校友会の活性化に繋げ、母校の発展に寄与することを目標として設立されました。

特別委員会は今からおおよそ 12 年前の平成 15 年に初めて起案され、平成 17 年に発足しました。初代特別委員長は、長友隆男元理事長で、その後角野副会長、枝広副会長へと引き継がれました。

その間、陸上部駅伝ブロックに係る支援を校友会として独自に立案・予算化し、平成 24 年に初めて箱根駅伝予選会に本学・学生が出場するに至りました。平成 24 年に初出場した時は、40 位でしたが、その後毎年出場し、昨年は 30 位の成績でした。また、4 年生の矢澤健太君が出場選手中 88 位となり、学連選抜に見事選ばれ、皆様もご存知の通り、本年 1 月 2 日に 1 区で登場し、大学職員や後援会、校友会の皆様の応援を背に見事に完走しました。

今後、特別委員会としては、箱根駅伝に限らず、学生全体の支援を新たな使命に加え、尚一層の活動の場を広げ、母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。

特別委員会 活動内容

- ・箱根駅伝出場のための陸上部駅伝ブロック所属の学生支援(奨学金の給付等)
- ・昭和記念公園で 11 月に行われる箱根駅伝予選会と埼玉駅伝の応援
- ・本学学生の正課外活動の支援 など

役員紹介



芝浦工業大学 校友会

監査役

辻村 建

建築学科

昭和46年卒業

校友会歴

平成23年 常任幹事 選挙管理委員長

平成26年 常任幹事 常任幹事会議長

経歴

平成12年 大末建設(株) 取締役 東京本店副本店長

大末パートナーズ(株) 代表取締役

平成24年 芝浦工業大学 施設管財部 担当部長



芝浦工業大学 校友会

監査役

小川 達生

通信工学科

昭和51年卒業

校友会歴

平成26年 本部常任幹事 就任

平成29年 本部監査役 就任 現在に至る

経歴

平成21年 日新コンピュータシステム 代表取締役 就任

平成29年 日新コンピュータシステム 取締役会長 就任

現在に至る

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。監査役を務めさせて戴き、校友会活動の活性化に微力ながら努めています。

監査役業務では、大きく二つの視点で捉え取組をしています。一つは貴重な会費の有効活用と適正運用を図り、大学、後援会と一体となった本学のブランド力の更なる向上を念頭に、校友会々員相互の交流と親睦を深めて行く所存です。

二つ目は、常任幹事で構成される校友会活動の根幹を成す7つの委員会活動の活性化であります。諸先輩方からの伝統の継承を基盤に推進していく事が重要であり、活動の深度を確認し進めて参ります。

新年早々の第94回箱根駅伝競走では、陸上駅伝ブロックの矢澤健太君が往路1区を力走され、多くの校友の皆様が益々母校愛を深められたのではと思います。

日頃の校友の皆様からの支援のお陰でありますと共に、ご父母の後援会の皆様、大学教職員の方々からのご支援ご指導の賜であり、今後とも活躍を期待するところであります。

理工学系私学のトップブランドになるべく変革の進む母校、芝浦工業大学の校友会としましても、社会で活躍されている諸先輩方の皆様との絆を更に深め、

「時を大切に、母校・校友の絆を大切に」

との思いで、母校の発展に、より一層の寄与ができますよう、校友会活動に皆様が積極的に関与していただきます事を、宜しくお願い申し上げます。

昨年、本部監査役に就任いたしました。選挙の際に提出した監査役立候補届けにも記述しましたが、「在校生を100%就職させる」をモットーに活動を行っています。

近年は、学生優位の就職環境ですが、それでも10月以降内定をもらえない在校生が多数見られます。まずは、中小企業に在校生が目をつけるよう各地で行われる当校の父母懇談会等において、中小企業の魅力を父母・在校生に向けて中小企業に入社した芝浦工業大学の若い卒業生に魅力を語らせております。その成果もあって、近年10人程の卒業生を当社にも入社させて頂いております。

本業の監査役としては、ほぼ毎月監査役会を開催し執行役員会、各種委員会、イベント等に参加し、その内容を報告し、規程に則り委員会活動、本部の活動等が行われているかを検討し、問題がある場合は、議事録に記述し執行役員会に報告をしています。

四半期ごとには、会計監査を行っております。また、年度末には固定資産の減価償却が正しく行われているを確認しその結果を議事録に記述しております。

今後、規定と実態がかけ離れているような場合や規定もしくは、運用に改善の余地がある場合、提案書を執行役員会に提案できるようにしたいと思います。

より良い校友会になるよう努力してまいります。

役員紹介



芝浦工業大学 校友会
監査役

飯島 敏春

機械工学科
昭和54年卒業

校友会歴

平成23年 本部選出幹事
平成26年 監査役・常任幹事

経歴

平成19年 日本通運(株) 横浜警送支店長
平成21年 日本通運(株) 関東警送支店 部長
平成29年 日通商事(株) 人事部調査役

校友会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成26年から監査役に就任して2期4年目を迎えました。この間、全国各支部総会や父母懇談会等で皆様からご意見やアドバイスを頂きました事、感謝申し上げます。微力ながら今後も皆様のご意見を積上げて参ります。

さて、2年後の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたインフラ整備や建築・建設工事が多忙を極めるなか、全国的に日本を訪れる海外旅行者が増加しております。

大学はスーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)の採択を受けて3年が過ぎました。文科省の中間審査ではA評価を受け、教職員一体となりSGU事業の目的である「世界に通用する実践型技術者の育成」の推進を行っております。

校友会も大学とベクトルを併せて支援して行かなければなりません。これからの学生は卒業後、すぐに海外で勤務する時代となります。メーカーの生産工場や建築現場はアジア・アフリカの高温多湿な地域での勤務も多くなると考えます。心身共に強い学生が企業から望まれますので、文武両道の学生を育成できるよう支援しようと考えます。

現在、私は大学剣道部の監督も拝命しております。剣道の理念には、心身を練磨して、旺盛なる気力を養い、礼節を尊び、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、社会に貢献できる人材を育成するとあります。

この教えを心掛け、立派な技術者を育成する手助けを大学と一緒にやりたいと考えます。

鈴見会長のもと、辻村監査役並びに小川監査役と力を合わせ、公明正大に監査業務を遂行して参りますので、今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。

常任幹事会議長紹介



芝浦工業大学 校友会
常任幹事会議長

長谷川 健嗣

機械工学科
昭和57年卒業

校友会歴

平成26年 常任幹事就任
平成29年 常任幹事会議長就任

経歴

昭和57年 (株)吉田製作所 入社
平成29年 (株)吉田製作所 取締役 生産本部 本部長

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年より常任幹事会議長を拝命し、執行役員会・常任幹事会・所属委員会等へ出席し、各種委員会活動に参画することにより、改めて校友会活動における会員の皆様のご尽力に深く敬意を表しますと共に、常任幹事の皆様にはご多忙の中、常任幹事会での熱心なご討議を頂戴し厚く御礼申し上げます。

ご高承のとおり校友会は、本部及び支部選出幹事・卒業生評議員候補者幹事・学内選出幹事より構成される幹事会が基盤となっております。現在、常任幹事は93名が選出され、校友会設立の目的である「会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会活動の増進に寄与すると共に、母校の研究事業を援助し、母校の発展に寄与する」を具現化するために会員各位のご協力を頂き、各種の事業を計画し、活動を展開しております。

これら事業の推進のために、各委員会から上げられた審議事案に基づきスムーズな議事運営を心がけ努めて参りました。

またこの一年間、不慣れな小生の議事進行に際し文倉辰夫副議長、内山毅副議長お二人のお力添えと共に、常任幹事の皆様からの建設的なご意見とご協力を頂いたことで、これまで4回にわたる常任幹事会の議事進行を滞りなく務めることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

今年度は校友会90周年の年でもあり、昨年に引き続き好評でありました品川プリンスホテルアネックスタワーにて校友会全国総会・懇親会を開催し、更なる校友会の拡大と活性化を推進すべく活動して参ります。

皆様におかれましては、より一層の校友会活動へのご理解とご参画を頂き、発展し続ける我が母校芝浦工業大学の社会的基盤強化に、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

理事長挨拶



学校法人芝浦工業大学
理事長
五十嵐 久也

芝浦工業大学校友会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度は校友会全国総会の開催、誠におめでとうございます。

昨年度は本学にとって記念すべき節目の年となりました。11月1日の創立90周年式典及び祝賀会においては、米国やポーランド、アジア各国をはじめ国内外より総勢1,200名を越える方々に本学のこれまでの歩みを盛大にご祝福いただいたことが何より強く印象に残っております。また、新年には本学の学生として初めての箱根ランナーが誕生し、まさに創立90周年に花を添えるトピックとなりました。箱根駅伝を通じては、母校芝浦工業大学の名を全国に知らしめ、大学のブランド力向上への大きな一助となりました。加えて、今年の大学入試における志願者数は本学史上初めて4万人を大きく越え、過去最高を記録しました。これらは社会からの大学への評価や注目の高さを示しているわけですが、その原点は創立者有元史郎先生が掲げた人材育成の精神と卒業生一人一人が着実に積み上げてきた伝統の成果です。大学の伝統やブランドを築く最大の要因は、卒業生の社会での活躍であり、その原動力は母校に対する強い思い入れであります。

さて、本年からはいよいよ創立100周年に向けての新たな歩みの始まりです。この10年は本学の将来を決定する重要な期間であり、10年後に「私学理工系トップブランド大学」の地位を得るには、一年一年を勝負の年と位置づけて着実に積み上げていく以外に方法はありません。

本年度は12名の外国人専任教員が新たに教育研究にあたっており、グローバル化が強力に推進される年となります。また、中期目標としては、社会と約束した文部科学省のSGU事業の完遂を目指すこと。そして、次なる発展の土台となる豊洲第2校舎の新設工事を練り上げ、確実に実行に運ぶことが重要であります。現状維持は退化なり。この精神を肝に銘じ、100周年に向けて本学は日々成長して参ります。

これからの大学発展には教職員はもとより卒業生のご協力が大変重要であります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

結びに、校友会の皆様、ご家族の皆様のご健康を祈念申し上げます。

学 長 挨 拶



芝浦工業大学
学 長
村 上 雅 人

THE 日本大学ランキング

現在、世界大学ランキングが注目されています。ランキングの正統性については、賛否両論ありますが、海外の大学が協定先を決めるときや、海外の学生が留学先を決める際の参考としていることも事実です。

この世界大学ランキングは、日本の大学には不利と言われています。それは、大学の国際性 (International outlook) が遅れているためです。日本の大学は、日本人の高校生を入学対象とし、長く日本語のみで教育をしてきました。それが、日本の教育の強みでもあったのです。しかし、今や高等教育もグローバル化の時代です。世界の大学ではボーダーレス化が進み、よりよい教育を求めて学生も移動します。いまや、世界では、500万人を超える学生が国境を越えて進学しています。世界の高等教育における共通語である英語で講義がなされていない日本はランキングにおいて不利になるのも当然です。

ただし、日本の教育は世界に冠たる実力があると私は思っています。一方で、International Outlook では、後塵を拝しているのも事実です。したがって、グローバル化を進めれば、本学を含めた日本の多くの大学は、世界の上位にランクされると考えています。

実は、大学格付け機関として世界で最も権威があるとされている THE (Times Higher Education) が、日本における大学ランキングを発表しました。これは、高い技術力を有し、優秀な人材を世界に輩出している日本の実力と教育力を高く評価している証左です。なぜなら、THE が国別ランキングを発表しているのは、米国と日本だけだからです。

本学は、このランキングにおいて、国立大学を含めた全大学で 48 位、私立大学では 14 位にランクインしました。国立大学が有利な ST 比 (教員ひとりあたりの学生数) や、総合大学が有利となる高校教員の評判などの指標もあり、私立の工業大学には厳しい面もありますが、その中において、かなり高い評価を得ることができました。

本学は 2014 年にスーパーグローバル大学に、日本の私立理工系で唯一採択された実績もあり、多くの卒業生が産業界で活躍していることから、高位でランクインできたと考えています。

本学は、100 周年に向けて、アジア工科系大学トップ 10 入りを目指し、常に前進していきます。今後も、校友の皆様の変わらぬご支援をお願いして、学長の挨拶と致します。

芝浦工業大学史上初の快挙！陸上競技部・矢澤健太さんが

第94回箱根駅伝(1区)に出場



箱根駅伝往路スタート時の様子



自己ベストに近いペースで力走

1月2日、第94回箱根駅伝(往路1区・大手町(鶴見)に陸上競技部・矢澤健太さん(土木工学科4年)が本学史上初めての出場を果たしました。矢澤さんは、関東学生連合チームで補欠エントリーされていたが、当日のエントリー変更により急遽1区を走ることとなりました。午前8時にスタートし、8時14分頃には芝浦キャンパス近くの田町駅付近を通過。スタートまで1時間という直前での告知にも関わらず、区間中の応援ポイントには学生や卒業生、教職員など約200人以上が応援に駆けつけ、矢澤さんに大きな声援を送りました。その結果、1時間4分50秒というタイムで無事に2区へとタスキをつなぎました。本学史上初の快挙となる、今回の箱根駅伝への出場。矢澤さんは自己ベストに近いペースで走り抜き、見事な力走を見せました。

陸上競技部・矢澤健太さん(土木工学科4年)

学生連合チームに選出された後の選考会で競り負け補欠に落ちてしまいましたが、気持ちを切り替え、ただひたすら練習していました。そんな中、突然1区を任されると聞き、欠場となってしまった東京大学の近藤選手から、「0.5秒差で落ちた矢澤さんを陸上の神様は見捨てていなかったのだと思います。大学陸上最高のレースをしてきてください!」と送り出されました。

本番では、序盤はほぼ自己ベストのペースで走ることができ、後半も粘ることができました。持っている力は出し切れたと思います。沿道では多くの大学の応援の旗や、名前をたくさん呼んでくださる声援が聞こえ、励みになりました。今回大学としても初めて箱根駅伝に出ることができ、後輩にもその姿を見せることができました。頑張れば自分たちでもできる、と自信を持ってもらいたいです。

多くの方々の応援のおかげで、箱根駅伝を走り、タスキをつなぐことができました。本当にありがとうございました。



田町駅前を走る矢澤さん(右から2番目)



田町駅付近には100人近い応援団が集まった



Shiba-Jo プラチナネットワーク

Shiba-jo プラチナネットワークご紹介

● オープンキャンパスに参加

2017年度夏に豊洲・大宮キャンパスで実施したオープンキャンパスに、Shiba-jo プラチナネットワークのメンバーが、受験生やその保護者へのアドバイス役として参加しました。保護者向けガイダンスに登壇し、エンジニアとしてのこれまでの体験談や就職活動での心構えなどについて講演したほか、相談ブースにて、就職や大学院進学に関する相談の対応をしました。大学受験を控え不安な受験生にエールを送ることができ、大変有意義な活動になりました。また、来場者からも大変好評をいただくことができました。



- ・小宮山由起江（清水建設株式会社土木技術本部 基盤技術部、土木工学科 平成2年 卒業）
- ・坂井菜穂子（日本電設工業株式会社鉄道統括本部交通事業部、電気工学科 平成1年 卒業）
- ・高橋博子（富士電機㈱）パワエレシステム事業本部サービス統括部、通信工学科 平成4年 卒業）
- ・土屋真理子（新潟原動機株式会社 太田工場技術センター、機械制御システム学科 平成26年 卒業）
- ・土山真由美（ハマゴムエイコム株式会社、機械制御システム学科 平成11年 卒業、工学マネジメント専攻 平成30年 修了）

● FM 放送技術研究会のラジオ番組に出演

2017年11月3日、芝浦祭およびホームカミングデー開催中の豊洲キャンパスで行われた文化会FM放送技術研究会（FM芝屋）のラジオ番組にShiba-jo プラチナネットワークより3名のOGが登壇しました。それぞれのOGが在学していた頃の話や現在の大学の様子を語り合い、意見交換を行いました。担当した学生からは「ここ5～8年でも大学に変化していることがわかり、新たな発見につながった」、「卒業生のお話を聞ける機会があることや、卒業生同士の交流の場があることを知り、今後、活用していけたらと思う」などの声が聞かれました。



- ・中島早也香（電子工学科 平成25年 卒業）
- ・毎田紗世梨（情報工学科 平成27年 卒業）
- ・池田歩（博士(後期)課程 地域環境システム専攻 修了) ※出演は在学時

● 2017年度 第3回懇親会開催

Shiba-jo プラチナネットワークでは、メンバー同士のつながりをつくり、深めていく機会として、メンバー懇親会を開催しています。最近では、2月17日に、第3回目の懇親会を行いました。大学教職員、技術開発、事務職、主婦などさまざまな立場の卒業生・教職員計12名が参加しました。

互いの仕事や育児などの近況報告のほか、Shiba-jo プラチナネットワークがどのように活動を発展させていけるかについても話し合うなど、大変有意義な時間となりました。

今後も懇親会を重ねていきますので、興味のある方はぜひご参加ください。



kawara CAFE & DINING 銀座店にて

Shiba-jo プラチナネットワークとは

芝浦工業大学の女性卒業生、教職員、在学生でつくるネットワークです。

異業種／同業者交流としてご自身のキャリアに活かすもよし、ご自身の活動を紹介する場としてもよし、再就職のヒントを得る場所など、それぞれの立場で、メンバー同士がこのネットワークを活用しています。ぜひ、あなたの活用方法を見つけてください！

現在は、就職セミナーへの参加など女子学生への支援を中心として活動していますが、今後このネットワークを活用した活動を広げていきたいと考えています。一緒に中心となって進めて頂けるメンバー、活動におけるアドバイス頂ける方を募集中。

また、在学生支援としてセミナーなどに登壇頂ける方も募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

入会申込はこちらから
<https://goo.gl/bLzTAj>



Shiba-jo プラチナネットワーク会員構成

種別	卒業生 教員	卒業生 職員	卒業生	学部生	大学院生	教員	職員	計
人数	1	7	69	16	7	17	12	129

2018.3 現在

芝浦工業大学男女共同参画推進室内 Shiba-jo プラチナネットワーク事務局
TEL：048（720）6440
E-mail：desk-geuality@ow.shibaura-it.ac.jp

実学サロン

～ 変革の時代の経営を考える～

異質との出会いを実現、校友からの校友のための生きた情報を聞く会

本年4月で第25回開催して実学サロンは、エンジニアリングやマネジメントの道で体得された先輩から知見を聞くために企画してきました。魅力的なエンジニアリングや効率的なマネージメントは、その道で体得された方に聞くのが一番だからです。芝浦工業大学を卒業し、社会で活躍する校友や在校生にとって、ビジネス経験を聞くことは、楽しく有意義なことです。

心を強くすることが、人を強くすること — 武術を通して人を育てる —

第22回(2017.4.7)は、昭和52年工学部土木工学科卒業の椎名市衛(しいな かずえ)氏を招いて開催しました。

椎名氏は本学剣道部先輩であり、卒業後も剣道部のコーチや監督として後輩の剣道指導を行いながら、北辰一刀流や直心影流剣術を修行されてきました。

直心陰流剣術師範並びに千葉家正伝北辰一刀流第七代宗家を襲名しています。

剣道・剣術はもとより、剣道場床工事、日本刀、放鷹術、庭園プロデュース等、日本の伝統文化全般に精通しております。実学サロンでは、実演を含めた講演で、剣道・剣術の修行や若者の指導で会得した精神と心の在り方について、お話を伺うことが出来ました。



「心をつよくすることが、人をつよくすること」と語る椎名氏(第22回)

介護者支援事業でビジネス — 知って得する介護の知識 —

第23回(2017.5.12)は、平成6年工学部建築学科卒業の和氣美枝(わき みえ)氏を招いて開催しました。

和氣氏は、本学卒業後、大手不動産に入社、38歳の時にお母さんの病気をきっかけに介護と仕事の両立で、「介護離職」をしました。現在は、その時の経験を生かして「介護者支援の事業化」に取り組んでいます。



実学サロンの趣旨を語る林田和雄副会長・総務広報委員長

校友同士のふれあいの場を提供する

『実学サロン』は、2012年の7月に第1回目を開催し、本年で6年になります。講師は、毎回校友から選んでいます。実学サロンが、社会に出て活躍している校友の活躍ぶりを紹介する場となっています。

アンケートには「引き続き実学サロンの開催、お願いします」「大変有益なので、今後も続けて頂きたい」「継続をお願い致します」「専門としない分野を学べる事は大変良い事だ」とあり、校友からビジネス経験などを聞くことは有意義なことだと思っています。

運営側としての悩みもあります。参加した方の満足度は高いのですがなかなか参加者が増えてくれないことです。皆さまのメールアドレスを改めて、登録していただければと存じます。ご支援、よろしくお願い致します。

副会長・総務広報委員長 林田 和雄

「介護に関する知識さえあれば「介護離職」をしなくても良かった」「介護の知識があれば生活の仕方が変わった」との思いから、「介護離職をしない、させない」という事業に取り組んでいます。2016年1月に一般社団法人介護離職防止対策促進機構を立上げ、代表理事に就任しています。

団塊の世代が介護を受ける「大介護時代」が目前に迫る中、介護に関するイロハを伺うことが出来ました。

中小企業のエンジニアとは —女性エンジニアが輝くために—

第24回(2018.2.23)は、平成6年工学部工業化学科卒業の神山麻子(かみやま まこ)氏を招いて開催しました。神山氏は本学卒業後、太陽塗料株式会社に入社しました。そこで商品開発エンジニアとして、シンナーを使わない環境負荷の少ない塗料など様々な商品の開発に尽力をつくされてきました。

現在は、同社の取締役及び技術部部長の傍ら、市場開拓に取り組み、納品先の現場に出向くなど、営業現場の第一線でも活躍されています。

2016年2月には、神山氏が中心となり開発した「マスキングカラー」がテレビ番組にて特集を組まれるなど、注目を浴びています。女性エンジニアとしての経験談や商品の開発秘話など、子育てなどの不利な女性の立場を克服してきたかのお話を聞くことが出来ました。



講演中の和氣美枝氏。(23回)



講演中の神山麻子氏。(24回)

実学サロン開催案内連絡サービス

実学サロンの案内を希望の方は、①メールアドレスと②氏名と③学科、④卒業年次を校友会事務局まで、下記メールアドレスにてご連絡ください。メールにてご案内します。

E-mail:sitfriends@shibaura-koyu.jp

実学サロン開催の案内と開催実績

実学サロン開催の案内や過去の開催実績は、校友会のホームページをご覧ください。

<http://www.shibaura-koyu.jp/salon/index.html>

表1 実学サロンの開催一覧(第22回～25回)

回数	テーマ	講師	所属	卒業
第22回 2017.4.7	心を強くすることが、人を強くすること — 武術を通して人を育てる —	椎名 一衛	日本伝統文化保存会 会長、工匠	1977年 工学部土木工学科
第23回 2017.5.12	介護者支援事業でビジネス — 知って得する介護の知識 —	和氣 美枝	一般財団法人介護離職防止 対策促進機構 代表理事	1994年 システム工学科 工学部建築学科
第24回 2018.2.23	中小企業のエンジニアリングとは — 女性エンジニアが輝くために —	神山 麻子	太陽塗料株式会社 取締役 技術部部長	1994年 工学部工業化学科
第25回 2018.4.11	介護予防、認知予防の生活支援サービスに取り組む — さわやか健康マージャンで元気を取り戻した高齢者達 —	金井 昭三	館山市高齢者福祉課 生活支援コーディネーター	1966年 機械工学科第二学科

支部活動報告

北海道支部

支部長 米澤 稔 建築学科 昭和44年卒業

平成29年度より、高野氏から支部長を引き継ぎました。宜しくお願いたします。

校友会北海道支部は、6分会（札幌、函館、旭川、帯広、北見、釧路根室）で構成されており、札幌分会は5部会を擁しています。現在の登録会員数は470名ほどになります。本部の活動に協力し、本学の発展に寄与すべく年間の活動を推進しています。また、各分会および部会ごとに、忘年会・新年会・ゴルフ会などにより交流・親睦を図っています。

平成29年5月20日の第52回総会には、来賓として鈴木会長、五十嵐理事長、野口常務理事ほか本学・校友会関係者にご臨席を賜り、深く御礼を申し上げます。基調講演は講師に朝日川酒造の常務・杜氏の浅黄雅彦氏（工化S54卒）を招いて、「酒が飲み手を選ぶ酒とは」を演題として、貴重なお話を拝聴しました。その後の懇親会では利き酒会を催しました。

会員への情報誌として、「北海道支部だより」の発刊（今年第39号）を続けていますが、鈴木会長と五十嵐理事長には毎年寄稿して頂き、ご協力に感謝をしています。支部の活動内容や会員の動向、記事など盛り沢山となっており、支部の貴重な歴史を刻んでいます。

会議は幹事会を7回、総会実行委員会を若杉委員長のもとで開催しました。今年は、2006年以来の支部会員名簿2018年版を、名簿編集委員会において改定刊行します。

本学主催のロボットセミナーが、平成29年9月9日、10日に開催され、支部会員6名が出席し、平成29年9月2日の父母懇談会には、支部会員9名（若手4名）が出席し、協力させて頂きました。

今後の支部活動を活性化するために、本校や校友会の情報提供と支部会員の拡大に努め、年間事業の充実を図っていききたいと思います。



北海道支部第52回総会 2017年5月20日 札幌京王プラザホテル

岩手支部

支部長 遠藤 龍一 建築工学科 昭和50年卒業

校友会の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

最近の岩手支部総会は、本部総会の報告を兼ねて6月下旬に開催しております。

今年度は、平成29年7月1日（土）に盛岡市駅前の「ホテルルイズ」で大学の経営企画部長山下修様、校友会副会長 神野兼次様、青森支部長木村喜有様をお迎えして、支部会員10名の参加の中、和気藹々の開催となりました。

年々参加者の高齢化が進み、参加者も減少傾向にあるなかで、昨年は1名の新会員の参加がございましたが今年度は残念ながら無しでした。若い方々の参加により岩手支部も益々元気になりますので、ぜひ多くのご参加をい

ただきたいと思っております。

幹事会は総会前、年度末に開催（年に2、3回程度）しております。

支部行事としては、東日本大震災から7年となり、「復興の現場を数寝る会」を開催し、芝浦工業大学の取り組み「学生プロジェクト」に2017年度から採択されている「よねさきの丘プロジェクト」の現地を見学してきました。

当日は院生3人が黙々と作業をしており、芝浦の将来に期待が持てました。

岩手在住の卒業生の皆様で支部総会にご参加されたことのない方は是非一度参加をお願いします。芝浦での話題やら、なにやらで大いに盛り上がりましょう。お待ちしております。



平成29年度岩手支部総会



よねさきの丘プロジェクト院生とのショット

秋田支部

支部長 池田 広志 建築工学科 昭和55年卒業

全国の芝浦工業大学校友会の皆様、秋田支部からお便り申し上げます。

秋田支部総会は例年7月第1金曜日と決め、早期に日程調整をしてもらいながら、多くの方から参加を頂いております。平成29年度総会には、来賓として、学校から経営企画部長の山下修様、校友会から事務局長の岩本行雄様、後援会から前東北支部長の齊藤勝俊様（秋田市在住）、東北支部長代理として幹事の小林淑江様のご出席を頂きまして、会員を含め20数名からなる総会を盛会裡に終えることができました。来賓の皆様方おかれましては、お忙しい中に格段のご配慮を頂き、厚く御礼を申し上げます。

ご挨拶の中では、「創立100周年」（2027年）までの取組、本年創立90周年事業としての新しい建築学部スタート、政府SGUプロジェクト（スーパーグロー

バル大学）に私学理工系単科大学として唯一選ばれたこと、シンガポール、台湾、タイランド、中国上海の校友会海外支部の紹介などがあり、母校芝浦工業大学の近年の躍進ぶりを改めて思い、卒業生として大いに誇りを感じる機会となりました。

総会後の懇親会では、後援会のご子息様の進路や諸先輩の様々な活躍の話題に花が咲き、一年に一度の宴は大いに盛り上がりました。

私たち校友会会員は、同じ芝浦工業大学の門をくぐり、青春時代の同じ「記憶」を持つ「絆」で結ばれた同窓生です。この結び心が、校友会はもとより母校の発展に繋がるものと考えます。

全国校友会の皆様、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



宮城支部

支部長 杉崎 年英 土木工学科 昭和48年卒業

東日本大震災から丸7年にあたる本年に、鎌田前支部長に代わり宮城支部長を仰せつかりました、杉崎年英と申します。

震災翌日結婚式を迎える女性社員の実家が津波に巻き込まれ、女性社員の母・祖母・兄が流され母親は数日後に、祖母は数週間後に発見されたが、兄は2ヶ月後に50km程離れた場所で無残な姿で発見され、合同の葬儀が5月18日にやっと執り行われたことや、震災4日後には、仙台市教育委員会より市内全域の学校施設の被害状況調査を依頼され、210校余りの学校を休む間もなく連日調査を行ったこと、被害の大きかった20校余りの崩壊斜面の復旧設計及び復旧工事に携わったことなど大震災の記憶は今でも鮮明に思い出されます。

復旧事業に何らかの関わりを持ちたく、平成27年に土木設計コンサルタント会社を立ち上げ、無我夢中で復旧事業に関与してきた事など、あつという間の7年間でした。

芝浦工大の数多くの卒業生が震災復興に携わり貢献してきたことは、工業系大学の存在意義を改めて肌で感じられた7年間でもありました。

震災後の宮城県支部校友会活動を振り返ってみると、東松島市に本拠地を構え震災復旧・復興を陣頭指揮された（株）橋本道路社長橋本先輩のご厚意により、復興状況の現地視察を開催し東北地区各支部からもご参加をいただき実施したことは、特筆すべき活動だったと考えて

います。今後も、東北の復興をテーマにした活動は続けていきたいと考えています。

また、各年代層の関係が希薄になっていることも危惧されます。一同に集まる大会ばかりでなく、各年代層が興味を持って集まれるような催し物の企画も考えていきたいと考えています。

任期中のテーマとして、会員の健康維持・会員相互の互恵関係の強化を目標に活動を行っていきたくと考えています。具体的には健康スポーツ大会への参加や、若手と第一線で活躍されている先輩方との交流会等を積極的に行っていきたくと考えています。

校友会支部活動の活性化には、卒業生皆さんの積極的なご参加が不可欠ですので、ご協力よろしく願いいたします。

最後に、芝浦工大卒業生及び在校生のますますの御健闘を期待しております。



山形支部

支部長 川越 進 土木工学科 昭和46年卒業

山形支部は名簿上約 260 名おりますが、その内会費納入依頼や総会案内などを送付する会員が約 190 名。年会費は 1,000 円と低額にしておりますが、納入者が 47 名で本年支部総会参加者が 9 名という小規模の支部です。

活性化を図るべく数年前から、庄内地区、置賜地区の分会を交互に開催しております。各地区の支部役員の方からの支援があり昨年で二回りました。少しずつではありますが徐々に参加者が増えてきております。

本年度は、米沢で置賜地区の分会を開催予定です。参加者が増えるような日程、スケジュールを検討して参ります。是非置賜地区の皆さんは気軽にご参加ください。

一度参加すれば楽しさが伝わるはずです。お待ちしております。

20 代 30 代の若い方の参加もお待ちしております。仕事抜きで学生時代の話で盛り上がりましょう。

是非会員の皆様には、同級生などにお声掛け頂き会費納入、総会参加人数が増えますようにご協力頂きたいと思っております。

<山形支部のフェイスブック開設>

<https://www.facebook.com/shibaura.yamagata>

支部の活動案内や情報を発信していきます。

皆様是非ご覧ください。



平成29年度総会



平成29年度庄内分会

福島支部

支部長 斎藤 敬一郎 建築学科 昭和34年卒業

福島支部は平成 27 年（2015 年）20 周年記念式典を開催しました。これまで、会員の親睦を深めるため、各種行事を開催しております。

総会、一泊旅行、地域飲み会、などの活動を通し会員同士の交流を目的とした支部です。

昨年度の主催行事としては、5 月「福島支部総会」、10 月地元研修旅行「郡山市周辺の歴史探訪と鯉を味わう」を実施しました。普段何気なく見聞している場所ですが、研修旅行を通して（可能な場合はガイド付き）更に深く知ることができ、地元福島に対する愛着がわきました。

昨年度は郡山周辺に的を絞り、「郡山市開成館」にある「安積疎水開拓の歴史」、「安積歴史博物館」、果樹園農家の 6 次産業化で知られる「逢瀬ワイナリー」、郡山市の温泉「休石温泉（太田屋）」、「須賀川のかっぱ麺」、アニメ映画王立宇宙軍オネアミスの翼や政宗ダテニクル

で知られるガイナックス、などの旅行を楽しみました。

歴史、食の文化、地場産業を感じ、楽しく有意義に少し真面目に遊びに遊んだ 2 日間でした。地元福島の良さを一緒に感じてみませんか。

また、手軽に交流を楽しむために「地域懇親会」も開催します。

5 月 26 日（土）は「福島支部総会」が決定しております。福島県在住の卒業生の皆様、校友会 HP では総会、地域イベント、懇親会の模様を写真付き報告書にまとめてご覧頂けます。

昨年度は新たに会員 4 人が加わり、地域交流イベントや地域懇親会をきっかけに、この会を楽しんでおられました。

先輩、後輩とのつながりができ、仕事、趣味の話題、様々な情報を受け取ることができます。活動状況をご覧いただき奮ってのご参加お待ちしております。



栃木支部

支部長 池田 猛 土木工学科 昭和48年卒業

栃木支部の活動に際し、芝浦工大校友会より格別なご支援を賜り感謝申し上げます。

平成29年度の「栃木支部総会」は、昨年11月11日に校友会本部より釜井副会長、大学から横田常務理事の出席を賜り盛大に開催することができました。総会後の研修会では、支部会員による活動報告、さらに横田常務理事から大学および校友会の現状についてのお話があり、大変有意義なものとなりました。その後、懇親会を開催し会員相互の親睦を深め、情報交換の場となりました。

また、最近の活動として、昨年9月11日に宇都宮市

で企業交流会が開催され、本校のブースも設けられたため、県内の卒業生に来場を呼びかける案内状を送付しました。

さらに、今年の2月27日に支部活動の充実を図るべく幹事会を開催し、支部組織力の強化・会員数の確保、コミュニケーションの充実、在学生の修学支援、100周年に向けた支援体制の確立の4項目について具体的な行動に向けて意見交換を行いました。

今後とも、会員の支部への参加を呼びかけ、栃木支部の活性化を目指すとともに、会員の輪を広げ、芝浦工業大学の発展に寄与していきたいと考えております。



茨城支部

支部長 増山 栄 建築学科 昭和47年卒業

茨城支部総会は平成29年11月18日(土)水戸市内の「三の丸ホテル」にて開催しました。

来賓には、茨城県国体・障害者スポーツ大会局局長の石田奈緒子様と、銀座にある「わいん厨房たるたる」オーナーソムリエ伊藤博之様(H2工業化学科卒)をお迎え致しました。来賓の両者それぞれに講演をして頂き、拝聴した会員皆様大変興味深く熱心に聞き入っていました。

今回の茨城支部総会は、会員53名の出席者で、懇親

会は年代を超えての情報交換の場となり、熱気に溢れ、最後は校歌斉唱で次年度の再会をお約束しての終了となりました。

今後も益々校友会の絆を広げ、少しでも母校の発展にお役立てできます様頑張ってください。

次回には1人でも多くの卒業生の皆様のご参加をお待ちしております。

一緒に盛り上げていきましょう。



群馬支部

支部長 半田 公作 建築工学科 昭和52年卒業

支部総会を平成30年3月3日に高崎の「ホテルメトロポリタン」にて開催しました。過去最高の41名の参加があり会員の皆様には大変感謝しております。本部からは、釜井重一校友会副会長、横田壽芝浦工業大学常務理事をお迎えして、盛大に開催することが出来ました。昨年から2回目の試みとして、坂西氏（2001年卒材料工学専攻）による『新規シャープ芯の開発』と題して30分程度の講演をしていただきました。前回に続き会員が、それぞれの分野での研究開発が社会のニーズに繋がっていくことが確認されました。来年を楽しみにになります。

懇親会では、先輩と後輩との会話が活発に展開され、仕事の繋がりや地域のボランティア・趣味の仲間等の話題で盛り上がりました。

今年は初めて在校生の矢内君（システム理工学部2年生）が参加して新しい芽が芽生えてきています。懇親会では自己紹介など一人一言の近況などを聞き、会員のそれぞれの企業に於ける役割等がよく理解できました。

昨年は会員の上相氏、大阪氏の勤務先である『ヨシモトポール(株)』の工場見学会を実施し10名が参加しました。今後も会員の更なるものづくりへの探求心の向上、意見の交換などにより、親睦を図って行きます。また親睦兼ねた1泊ゴルフコンペを沼田にて開催しました。全国総会も21名が出席し過去最高を記録しました。今年は工場見学会とゴルフコンペと忘年会を11月に予定しております。

皆様方の群馬支部会への参加を期待しております。宜しくお願い致します。



埼玉支部

支部長 吉池 富士夫 金属工学科 昭和51年卒業

私たち埼玉支部は、多くの在校生が通う大宮キャンパスがあるため、校友のみでなく、在校生とも積極的に繋がりをもちながら、校友会活動を進めております。

平成29年10月21日（土）に開催された平成29年度埼玉支部総会では、台風21号接近に伴う秋雨の中48名の校友に足を運んでいただきました。総会においては、大学、後援会、校友会本部並びに近隣都県支部（東京総、多摩、群馬、茨城、千葉県）から来賓のご臨席を賜り、大学の現状や校友会の報告等、有意義なお話をいただきました。また、幹事であった佐藤 勝さん（昭和62年機械工学科卒）が、副支部長に就任することが承認され、支部運営強化に向けた新たな体制となりました。

その後の懇親会においては、大宮キャンパスを拠点に活動している「Shangri-la」の演目を見ながら、校友同士の交流に加えて、在校生との歓談と、充実した時間を共有できました。

恒例となった春の埼玉支部主催の行事として、平成30年4月14日（土）に「岩槻散策と酒蔵巡りの旅」を開催しました。昭和30年代の卒業生が参加する中、つい最近卒業した若い世代にも参加いただき、東玉人形の博物館、久伊豆神社、岩時の鐘と武家屋敷跡等のある岩槻の裏小路を散策したのち、鈴木酒造の酒蔵資料館見学と試飲を楽しみました。酒蔵資料館見学後、近くの老舗料亭 ぼてい家で日本料理と鈴木酒造の日本酒を囲んで、世代を超えて懇親会を楽しみました。

平成30年度支部総会は、10月下旬を予定しております。詳細が決まり次第、校友会支部のホームページ（<http://www.shibaura-koyu.jp/>）に掲載いたします。また、最近の活動報告も掲載しておりますので、ご興味のある方はご覧ください。埼玉支部一同、埼玉に所縁のある校友の皆様の参加をお待ちしております。



千葉県支部

支部長 金井 昭三 機械工学第二学科 昭和41年卒業

千葉県支部は平成16年に「千葉支部」、「成田支部」と校友会未加盟の「芝浦会」の3つの団体を統合して設立した支部です。

現在会員数は180名です。今年15年目を迎える「新生・千葉県支部」は、より一層の活動の活性化を目指して下記の4つの課題に取り組んでいます。

1. 平成30年度総会を母校・豊洲キャンパスで開催（平成31年2月23日）
2. 分会を2か所設立「成田分会 平成30年9月」、「柏分会 平成30年11月」
3. 会員の増員（校友会ホームページ活用による広報活動の強化）



4. 家族で参加できるイベントの開催（潮干狩り等）

今後、千葉県支部活動をホームページやフェイスブック等で情報発信しながら、千葉県内の校友の方々に広く周知し、特に平成年度卒業の若い方々の積極的な参加を期待しています。

「校友会だより」で千葉県支部活動をお知りになった方は、是非とも身近な校友にお声をかけて頂ければ幸いです。平成31年2月23日（土）の母校豊洲キャンパスでの「千葉県支部総会」でお会いしましょう!!

当日は豊洲校舎見学ツアーを計画しています。未だ、豊洲校舎を訪問されていない方や、千葉県内の企業にお勤めの方は是非ご連絡下さい。



東京総支部

支部長 谷川 潮 機械工学第二学科 昭和45年卒業

東京総支部は総会にて今後の活動の柱として、「東京総支部の活性化と更なる拡大」といたしました。10年後の大学は大きな発展と活性化がなされます。

記念すべき創立100周年には、大学と共に校友会東京総支部も共に歩むために、これから先の3年間を「活性化と更なる拡大」の根幹体制の見直しを始めるための3年間とし、校友会本部のご指導を受けながら役員、会員一同力を合わせて努力致します。

平成29年度の会員数は297名、役員は22名、幹事53名、顧問53名です。東京に在住している卒業生は10,046名です。平成18年に校友会は東京都内地域支部の上位組織として東京総支部を平成18年11月9日

に設立。創立より11年の歴史を持ちます。当時存立していた都内4地域支部のうちの一つが多摩支部で、現在地方支部として独立し、活発に活動しております。

これから組織拡大を検討する過程の一案として「自立分散型組織」の集合が考えられます。東京総支部の下に複数の地域支部を置くことで必然的に多くの新たな卒業生の集約（核）形成が促進され、組織での新たな活動機能が増します。校友会の力も大きくなり、発信力、伝達力の拡大、更なる事業規模、集結力の拡大。社会、大学、後援会、同窓との輪の拡大に繋がります。具現化のためにこれからも皆様のご指導とご鞭撻を頂きます様に何卒宜しくお願い申し上げます。



多摩支部

支部長 中根 眞行 工業経営学科 昭和55年卒業

校友会会員の皆様、前任の谷川の後任として多摩支部支部長に新たに就任いたしました中根です。今後ともよろしくお願いたします。

多摩支部は、東京都の23区以外の地域をサポートしている支部組織です。現在の支部の課題は他の支部同様に、参加して下さる校友の皆さんの高齢化が進んでいる事でしょうか。これには支部内で意見を出し合って方策を立てて取り組んでおります。

一つの試みとして昨年度は、「武蔵国の国府（府中市）散策の旅」と称しまして会員15名と共に「サントリービール工場」見学と「府中郷土の森博物館」の散策をし

て、夏の一日を楽しみました。毎年行事を積み重ねて行く事で、活動に理解と興味を持って下さる会員の増加に努めて行きたいと考えております。

また昨年の箱根駅伝予選会には、多摩支部お膝元でのイベントと言う事もあって、大勢の卒業生が駆け付け母校の旗の下に集結し、大学、校友会本部と一体となって一生懸命に応援しました。結果正月の本戦第一区での感動の走りに繋がったことは、皆さんの記憶に新しい事と思います。

多摩地区に在住の卒業生の皆さん、今後開催予定の支部総会や各種イベントに是非参加をお願いします。多摩支部一同、心よりお待ちしております。



2017年7月21日 芝浦校舎内 校友クラブ

神奈川支部

支部長 長井 義明 建築学科 昭和47年卒業

私儀、昨年9月に開催された神奈川支部総会において、安藤脩二先輩の後任として支部長就任のご承認を頂きました。微力ではございますが、全力を尽くして支部の発展に精励いたす所存です。何卒ご指導、ご厚情を賜りませぬようお願い申し上げます。

平成30年度の支部総会は「横浜ローズホテル」で9月1日（土）に開催予定です。詳細は後日ご案内しますが、支部会員の皆様には、是非、ご来場の予定を組んで頂きたくお願い申し上げます。

さて、神奈川県は工業地帯と研究施設群があり、工業生産額は全国2位です。その担い手である校友会々員は約7,000名が在住しています。又、海あり山あり温泉や観光施設も整っており子供から就業者・リタイア組などそれぞれが楽しめる活気あふれる神奈川支部です。

当支部の活動の一つである、安藤支部長在任中に会員相互の親睦を図る為開始した「地引き網」を紹介します。

6年前に地引き網の場所や時期・規模を検討しました。相模湾に面し車のナンバープレートにも採用されている「湘南」海岸のほぼ中央に位置し“烏帽子岩”の見える茅ヶ崎海岸を候補地に決め8月の日曜日に実施しましたが暑すぎたため、翌年から5月に変更しています。参加人数を70名で計画しましたが、実際は小学生以下30～50名を含めて100～130名が参加しています。子供や孫と遊べる行事が会員に受け入れられている様です。参加者の顔ぶれは複数回参加者が半数、初めての参加者が半数で今後も同じ規模の申込みが有り継続可能と推察しています。本企画が実施出来るのも役員全員の協力があるからです。但し、野外イベントのため、天候と魚の採れる量は毎年心配の種です。お陰様でこれまで毎年天候に恵まれ、獲れる魚の種類は年によって異なりますがほぼ大漁なので、役員一同はご苦労さん会で盛り上がっています。簡単な紹介でしたが、他支部の活動の参考になれば幸いです。



2017年9月2日 ローズホテル横浜



長野支部

支部長 北村 武彦 建築学科 昭和45年卒業

●長野支部の構成

長野県・信州は地勢上から、東信、中信、南信、北信の4地域（四信という）に分かれ、行政、民俗、風習、気候などに幾分かの違いがあり、山並みが交通網を遮ります。それぞれに属する主な地域名は、東信が上田・佐久、中信が松本・安曇・木曾、南信が諏訪・飯田、北信が長野です。東・北信を通過する長野経由北陸新幹線がありますが、長野県下すべてが交通の利便性が高いとはいえません。

この状況から長野支部は、現在、諏訪会（南信）と中信会の二つ分会を持ち、支部事務局が所在する長野（北信）を加えて、四信の内三つの地域に会が置かれ、それぞれ活動をしています。

あと一つ残る東信方面の分会の設立が以前から念願となっており、本年1月の支部総会において設立の承認がなされ、上田会の設立総会開催の準備にはいりました。



大宮キャンパス訪問 校門前にて
白波五人男のように格好よく傘をさしてのたたまいで。
決して悪事をすることなく技術職を全うした、あるいは継続をしている参加者たち

これにより校友会員の増加と連携が向上すると期待しています。東信には技術を競う工業系の企業が数多くあり、経営者は母校との連携を望んでいます。

●長野支部の事業

かつてバスをチャーターし、新装なった豊洲と芝浦キャンパスを訪問したことがあります。大宮キャンパス訪問の提案が4年前に出され、昨年10月に実施しました。参加希望者はかなりいたのですが、都合がついた方が9名。大宮キャンパス第一期生1名を含む通学経験者4名は、東大宮駅と駅前に広がる街区、そしてキャンパスの変貌に、なつかしさより唖然とする方が勝ちました。

母校創立100周年に向けての支援事業が進行しています。長野支部創立以来の大先輩たちは、高齢で今は支部総会への出席もままならぬ状況です。彼らから引き継いだ会費の蓄財の中から、少額ですが支部名で募金いたしました。彼らの母校へのこころを込めた贈呈です。

石川支部

支部長 西 正次 土木工学科 昭和49年卒業

昨年本学創立90周年を迎えた一方で、60年を超える歴史と伝統ある石川支部（会員約200名）は総会では毎年30名をこえる参加者で開催されています。また最近では若い20代から30代の会員も加わって、幅広い年代層で交流が盛んです。2015年より小杉前支部長より支部長職を引き継ぎましたが、近年の傾向として北陸地区からの入学生の数が今一つ伸びておらず、会員増強にも苦勞しています。

2015年3月に北陸新幹線が金沢まで開通となり、「特急かがやき」で東京・金沢間2時間30分にまで短縮されました。その結果として関西圏とほぼ互角の時間距離となっています。この3年間は金沢への観光客やビジネス客を合わせて開通以前の約2倍の水準を維持しています。これらの交通の利便性を活かすべく、大学のPR活動として石川県内の進学校をピックアップして（13校）

毎年夏休みの時期に各高校のOBと同行のもとで、校長先生をはじめ進路担当の先生方に本校の近況を伝えています。その効果もあって合格者数が今年は昨年比15名から28名に増えました。金沢二水高校においては2名から20名へと急増したところもありました。地道な活動ですが今後共PR活動を継続したいと考えます。また昨年より支部執行部役員の増強と若返りを図りつつ、新規事業のゴルフコンペや会員サービス向上にも努めていきたいと思えます。今年はビッグニュースとして新春の箱根駅伝関東学連選抜チームの1区に芝浦工大矢澤君が出場しました。このニュースも会員の皆さんに伝えることができました。他にも明るいニュースがあればネットで伝えることも検討していきたいと考えます。結びに本学の校風である「文武両道」の芝浦工大のイメージとして少しでも復活することを願って御挨拶といたします。



福井支部

支部長 西浦 正三 土木工学科 昭和45年卒業

当支部は校友会本部と連携しながら、活動を行って来ています。例年7月末に総会・懇親会を開催しています。また、9～10月には、各会員が各地の高校へ出向き、大学の魅力を発信し、受験者拡大の運動を実施しています。平成29年度からは、女子の会員ともども女子高校へ出向き説明を行いました。

その他に、毎年2月開催の『新年の集い』や『地域ブロック別活動』、近況を校友会HPで全国に紹介する『会員訪問』などの活動を行っています。

新しい会員、転勤等で県内に在住の方は是非声を掛けていただきたいと思ひます。

支部長	西浦正三	工大土木 S45年
副支部長	森本誠一郎	工大電気 S50年
副支部長	永井弘明	工大建築 S53年
幹事	前田利尚	工大土木 S53年
幹事	村上一幸	工大土木 S60年
幹事	木下貴之	工大 院（建設工学）H20 修了
会計監査	田中大成	工大建工 S57年



岐阜支部

支部長 平井 良樹 工業経営学科 昭和57年卒業

岐阜支部では、毎年支部総会を7月に開催しています。活動内容は充実しているとはまだまだ言えませんが、現役多治見市長の古川氏をはじめ、参加者は毎年少しずつ増えてきています。

また、岐阜県は非常に広いため、毎年支部総会を岐阜市で開催しているのですが、今後は高山市などでも支部総会を開き、さらに参加しやすい環境を整えて行きたいと考えております。

信頼し合える仲間が集い、情報交換をし、友情を深め、さらに有意義な支部としていきたいと考えておりますので、総会案内が届きましたら一人でも多くの参加をお待ちしております。



静岡県同窓会支部

支部長 鈴木 和幸 土木工学科 昭和50年卒業

記念すべき第40回支部総会を平成29年7月1日(土)に開催し、来賓7名を含め30名余りの会員が集まりました。

I部の支部総会は前年度の事業・会計・監査報告、新年度の事業計画の審議をし、拍手により可決を受けました。

総会恒例の趣向を凝らした講演会は、装演師として、数多くの文化財の保存修理に従事されている山口敏和氏(昭和46年卒)より普段知ることができない興味深い講演を戴きました。

II部の懇親会は、愛知の吉田支部長、岐阜の平井支部長、神奈川の安藤支部長の各来賓から挨拶を頂きました。そして例年にも増してビンゴで盛り上がりました。

平成29年9月17日(日)18日(祭日)には静岡市葵区の静岡市立高等学校に於いて、「少年少女ロボットセミナー in 静岡」を開催し、小中学生50名が参加しました。内村教授は「ロボットのおはなし」と題し講

演し、その講演会場は階段状の視聴覚教室で、小学生は会場の盛り上がり呑まれるくらいでした。リモコン操縦の6足歩行ロボットの組立て、デザインコンテストやロボット同士を土俵上で戦わせるバトル大会が行われ、静岡市の教育委員会の方も訪れ興味深く見学され、盛大に終了しました。この時の様子は新聞各紙に写真入りで掲載され、芝浦工大の名を静岡地区に更に広めたことと思われます。

当支部の名簿も発行から10年が経ち、今年こそは改訂版を発行したいと思いい準備に取り掛かっています。この記事をご覧の静岡県関係者の方で、当支部の活動に興味を持たれる方は是非ご連絡をお待ちしています。

E-mail:sitshizuoka@yahoo.co.jp

または FAX 054-200-5545

http://www.geocities.jp/shibaura_shizuoka



愛知支部

支部長 榊原 周造 建築工学科 昭和45年卒業

愛知支部は、校友会本部、後援会東海支部と連携し活動を行っています。

平成30年度の活動予定を紹介させていただきます。

- 5月下旬 芝浦工大 愛知だより発行
- 5月19日(土) 第48回ゴルフコンペ
小原カントリークラブ
- 6月9日(土) 校友会全国総会出席予定
品川プリンスホテル
- 7月14日(土) 第42回愛知支部総会
平成29年度 校友31名 来賓6名
計37名にて開催
- 7月28日(土) 毎年後援会東海支部の方々と
- 7月29日(日) 協力して進めています。
- 9月中旬 父母懇談会東海支部総会 出席予定
- 11月中旬 第49回ゴルフコンペ 予定
- 1月中旬 校友会賀詞交歓会 出席予定
- 2月2日(土) 後援会東海支部との合同新年会 予定

新しい会員、転勤等で県内に在住の方は是非声を掛けて下さい。

E-mail : info@garden-g.com 榊原までよろしくお願
い致します。



愛知支部総会



「少年少女ロボットセミナー」 in 名古屋 2017

関西支部

支部長 松岡 英治 建築学科 昭和54年卒業

平成29年度の関西支部総会は11月17日に「個室 & パーティ会場 Morishita」にて開催しました。来賓として学校から五十嵐理事長、校友会からは鈴見会長を迎え、関西支部会員40名（内新卒12名）の総勢42名での支部総会となりました。

懇親会は昨年に引き続き今年も、若手会員の企画による「全員参加の楽しい支部総会」をテーマに実施し、全員参加のクイズやゲームを行うなど、昨年以上に盛り上がった総会となりました。

会の最後には校歌斉唱・エール・集合写真撮影を行い閉会となりました。

なお支部総会翌日は恒例の親睦ゴルフコンペには、五十嵐理事長は参加頂けませんでした。鈴見会長を含め15名参加にて、和気あいあいの中で開催する事が出来ました。

関西地区在住の卒業生の方々には、支部総会・親睦コンペに是非参加して頂ける様、心よりお待ちしております。例年11月第3金曜日が開催予定です。



島根支部

支部長 浅野 正教 建築学科 昭和45年卒業

島根支部の活動は低調です。年1回の総会の他は納涼会などで集まるぐらいです。来年こそと思うのですが、忙しさに追われてばかりの毎日です。

この4月9日に、島根県のほぼ中央部にあたる大田市で、最大震度5強の地震が発生しました。揺れの時間は短く、大きな揺れでもなかったため当初被害は低いと見られていましたが、調査してみると、かなりの被害が出ていることが分かりました。私も大田市内の比較的被害の多かった地域を2日間見て回りました。揺れのわりに門や塀が倒壊し、屋根や壁の崩れも目立ちました。1週間で900棟超の家屋被害が報告されていますが、さらに増える見込みです。幸い人的な被害はほとんどなかったのですが、被災家屋の多さには驚きました。震度5強以上の

何かの要因があったか（例えば断層とか）、老朽化が進んだ放置家屋が多かったか。これから復旧が大変です。特に空き家はこれを機に解体されてしまうものも多いと思います。一人暮らしの老人も多いので、復旧も進みにくいことでしょうか。地方の町の寂しさ、厳しさが地震によってより顕著になってきます。こういう災害によって地方の歴史的建造物もランドマークも無くなっていきます。地方が持っていたアイデンティティも地域の特徴も無くなってしまった時、何がそこに残るのでしょうか。地域の崩壊を何とか食い止めるべく努力したいと思っています。

今回の地震で被災された芝浦卒業生はまだ把握できていませんが、連絡しながら安否や被害程度を確認していきたいと思っています。



広島支部

支部長 立木 貢 土木工学科 昭和43年卒業

校友会広島支部は昭和57年に設立され、現在支部会員は374名登録されています。

広島支部の主な活動は会員相互の親睦を計ること、並びに大学・校友会本部との連携により母校の発展に寄与することを目的として進めています。

昨年の広島支部の定期活動は、備後分会の定例会を平成29年8月8日に出席総数12名で行い、懇親会も「気遣いの無い備後分会」をモットーに、和気あいあいとした中で行われました。また、第36回定期支部総会は平成29年11月16日に行い来賓5名の参加を加え、近年では最多の65名の出席者があり、盛大に開催することができました。この中で、7名の初参加があり、年々新しい会員が増えています。

今年度につきましては備後分会は9月頃、支部定期総会は11月16日を予定しており、昨年以上の参加者となるよう電気、通信、電子の各担当幹事が、準備を進

めています。

その他、支部活動として、役員会を2カ月に1回開催し、活動状況の報告、検討事項の決定等行っています。

また、毎年数回開催される中国ブロック会にも出席し、他支部との交流・親睦を図っています。

大学関係の行事として少年少女ロボットセミナー in 広島、父母懇談会が毎年開催されていますが、これらにも出席・協力をしています。

一方支部のイベントとしては、年にゴルフ2回、釣り1回、囲碁5回程度開催し、会員間の交流・親睦を図っています。

今年度は、登山（山歩き・ハイキング）の立ち上げを計画し、準備を進める予定にしています。

これら支部の活動状況は、広島支部のホームページとメールマガジン「広島支部通信」の配信により支部会員に知らせるようになっていますので、是非ご覧ください。



広島支部総会



【福山城】 【船の鯛網】 【しまなみ海道】

広島支部備後分会

山口支部

支部長 福田 隆行 土木工学科 昭和50年卒業

昨年11月の山口支部総会で、前任の河口さんから支部長を引き継ぎました福田と申します。校友会の皆様、よろしくお願いいたします。

山口支部は平成5年7月10日に発足し、今年で25周年を迎えます。

会員も新しい同窓会名簿による洗い出しにより、昨年10名の入会をいただき、現在80名となりました。活動状況としては、主に会員相互の親睦を図るため、毎年総会に併せて親睦ゴルフと懇親会をおこなっています。

総会については、発足当初は県内各地持ち回りで行っていましたが、近年は集まり易いということで、県中央の山口市とし、また、開催日についても11月の第1土曜日でほぼ固定化しました。

昨年は、11月4日の土曜日に山口レインボーヒルズ泉水原ゴルフクラブで親睦ゴルフコンペを行い、その後湯田温泉のプラザ寿において、総会と懇親会を開催しました。参加者は新規会員の吉永さん、中司さん、藤井さ

んの3氏を含めた会員18名と本部から林田和雄校友会副会長、横田壽芝浦工業大学常務理事をお迎えし盛大に行いました。

総会においては、来賓のお二人から、母校芝浦工業大学の近況、後輩学生の活躍等のお話を頂き、懐かしくまた頼もしく拝聴しました。

その後の懇親会では、親睦ゴルフの表彰式、会員全員による近況報告、学生時代の思い出話等に花を咲かせ、締めは恒例の校歌の大合唱と元空手部会員のエールにより、大いに会員相互の親睦を深めました。

一方、総会への参加者の固定化、高齢化が懸念されており、新規会員の情報、連絡、積極的な参加をお待ちしています。大声で校歌を歌いおおいに盛り上がりましょう。

今年山口県では明治150年プロジェクトやまぐち未来維新の中核イベントとして、「山口ゆめ花博」を9月14日から11月4日まで行います。「おいでませ山口へ」



香川支部

支部長 田岡 哲也 金属工学科 昭和57年卒業

香川支部は平成19年に再発足し、今年で12年を迎え、支部長は、私で三人目となりました。

支部総会は校友会本部、大学、徳島支部、愛媛支部、高知支部の皆様を来賓としてお招きし、後援会四国支部の役員の方にも参加をいただき、40名弱で実施しています。

総会は毎年4月の第三土曜日に、忘年会は11月の最終土曜日に開催し、その両日には、芝香里杯（しばかりはい）と題したゴルフコンペを実施しています。その他、暑気払い、新年会等で、支部会員の親睦を図っています。

香川大学工学部、香川高等専門学校、e-とぴあ・かがわ共催の「少年少女ロボットセミナー in 高松」は、開催が今年で5回目となり、後援会四国支部とともに協力、お手伝いを行いました。香川での隔年実施の「父母懇談会」には、積極的に参加している状況です。

香川県は、「うどん県」として有名ですが、四国の支店所在地でもあるため、転勤して来られた方、美しく穏やかな瀬戸内海で捕れる小魚で、一緒に酒を飲み、シメにうまいうどんを食べましょう！是非、ご一報を！



高知支部

支部長 吉本 哲生 土木工学科 昭和50年卒業

校友会高知支部は、昭和41年に発足以来52年が経ちます。今日まで支部活動を支えて下さった高知支部の諸先輩達と若い会員の皆様には、非常に感謝し支部長の職を務めさせてもらっている毎日です。

さて、高知支部は4月14日平成30年度校友会高知支部総会を来賓14名、支部会員27名の出席を頂き開催する事ができました。また当日は、第50回芝浦工大高知支部ゴルフコンペを土佐カントリークラブ（足摺コース）で校友会事務局長野上様、大学常務理事野口様、校友会常任幹事 中村様にも参加して頂き、4組14名で開催し趣向を凝らした、楽しいゴルフコンペとなり、皆様には非常に喜んで頂き楽しいひと時でありました。

また更に嬉しい事といえば、お正月恒例の箱根駅伝で

芝浦の襷を見る事ができました。今年も箱根はムリかと思っていた矢先に、今年は関東学連選抜で「矢澤健太君」が、それも1区を走るとの連絡を校友会本部から受け取った時は喜ばしかったです。お正月2日の箱根駅伝の放送にクギ付けとなり、田町駅付近の芝浦のノボリ旗を見ると嬉しくなり、毎年全国総会で質疑された、執行部の皆様のご苦勞が目に見え、めでました。それと同時に、私達の若かりし時代の「スポーツに強い芝浦」を、彷彿させてもらった1時間4分余りの時間でもありました。これからも、私達は、お正月2日だけではなく、2日、3日と芝浦の襷を掛けた選手が箱根路を疾走する姿を見る事ができる様に高知から応援をしてまいりたいと思います。



福岡支部

支部長 角 敬之 工業化学科 昭和45年卒業

福岡支部は、平成18年3月11日に再発足して以来、今年度で13年目を迎えます。

この間、支部の拡充・発展、会員相互の親睦と結束、校友会本部や九州・沖縄ブロックの各支部との協力・連携に鋭意努めて参りました。また、大学や後援会の九州・沖縄支部の行事や事業に対しても、積極的に協力や支援活動を行ってきました。

平成29年度の当支部の主な事業活動については、以下のとおりです。

6月10日の校友会全国総会・懇親会には支部長と中村宏相談役が、11月1日の大学創立90周年記念式典には支部長が出席しました。

6月17日に支部の定時総会・懇親会を開催しました。来賓として、校友会本部から角野常任幹事、佐賀支部から神代副支部長、熊本支部から永田支部長と橋副支部長、大分支部から三浦顧問、宮崎支部から尾形支部長、鹿児島支部から濱田支部長のご臨席を賜り、総勢31名で和やかに親交を深め、そして盛会裏に終えることができました。

6月11日、25日は、大学主催の“少年少女ロボットセミナー in 福岡 2017”に、博多工業高校の生徒や後援会の皆様と共に参加し、「ロボスクエア」での最後の開催に協力いたしました。

9月18日には、校友会の九州・沖縄ブロック会議を

当地で開催しました。その後の、後援会主催の父母懇談会の懇親会には、会議のメンバーや若手を含めて参加し、親交を深めました。

11月11日には、恒例の湯布院での親睦会（ゴルフ・懇親会）を開催しましたが、今回は佐賀、熊本、大分、宮崎の各支部からも参加を頂き、夜遅くまで賑やかに楽しむことができました。

なお、今年度の福岡支部の総会・懇親会は、7月7日17時より、「福岡ガーデンパレス」で開催の予定です。福岡県在住の卒業生の皆様のご出席をお待ちしています。連絡は下記までお願い致します。

TEL：092-926-1319、E-mail：misha-sun@csf.ne.jp
(事務局：内村 正和)



熊本支部

支部長 永田 昂生 土木工学科 昭和42年卒業

平成28年4月14日、16日の熊本地震の影響で、その年は、熊本支部会員のみで総会を開催しましたが、翌年度は校友会の皆様各位から温かいご支援をいただき、平成29年9月13日（水）に「熊本ホテルキャッスル」において熊本支部総会・懇親会を開催することが出来ました。改めまして、感謝とお礼を申し上げます。

今年度は学校、校友会本部、九州から福岡・宮崎・鹿児島島の支部長の出席を頂き、20名を超える参加で例年

通りの開催となりました。基調講演は「熊本城歴史と魅力」として、肥後考古学会の富田紘一会長にお願いし、熊本地震後の熊本城の現況を含めた話に復興への活力をいただきました。

平成30年6月9日に開催されます「校友会全国総会」の実行委員長を務めさせていただくことになりました。熊本支部も一丸となって全力を尽くしたいと思っております。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



佐賀支部

支部長 山田 清人 通信工学科 昭和48年卒業

佐賀支部総会は平成29年10月28日、佐賀市内の「ホテルマリタレ創世」で行いました。大学から五十嵐理事長、野口常務理事、校友会本部からは鈴木会長、中村常任幹事、角福岡支部長をお招きして開催致しました。

若い人の支部への参加が少ない中、4年前からは佐賀県出身の学生の保護者にも支部総会懇親会の案内を出しています。今年も2名の保護者に参加して頂きました。

大学や就職の状況やOBとの情報交換など親睦を深め「芝浦の仲間」を増やすよう取り組んでいます。

今年は明治維新150年。講演会では佐賀城本丸歴史館の学芸員さんに「幕末佐賀藩の世界へのまなざし」のテーマで講演をお願いし、当時の佐賀藩の先進的な技術力について講演をいただきました。



鹿児島支部

支部長 濱田 英俊 電気工学科 昭和43年卒業

芝鹿会の平成29年度総会は、7月1日（土）に「パレスインホテル鹿児島」に於いて、出席者24名で盛大に行いました。大学からは野口一也常務理事、校友会より鈴木健夫会長をはじめ、福岡支部より中村相談役・角支部長・内村事務局長、熊本支部より永田支部長・豊岡副支部長をまじえての総会になりました。

現在、芝鹿会は、登録者は40名位で、総会に出席されるのは約20名超です。また、新入会員は毎年1～2名おり、微増はしていますが、若い人の参加がおもしろくない状態です。

平成29年度は、芝浦工大名誉教授の相田武文氏をお招きして、鹿児島大学建築工学科の授業の一環として稲盛会館で開催した実績があり大変好評でした。

このような催しを大学側と交渉しながら大学・校友会・

鹿児島支部との関係を、今後も構築していきたいと思っております。

昨年は、鹿児島県内の土木・建築業界に発行されている鹿児島建設新聞に総会の案内の広告を出し、新会員の参加を呼びかけましたが、結果は思わしくありませんでした。今年も出す予定です。新会員の増員と芝浦工大の知名度を広めるのには、良いきっかけだと思っております。

また、新卒業生の名簿が手に入りましたので、鹿児島県内在住の方々には案内状を出したいと思っております。

大学及び校友会本部・各支部・特に九州管内の各支部とは、ブロック会及び各支部総会等に参加し、連携を図りながら御指導いただき少しでも母校の発展及び校友会の発展に役だてる様努力していきたいと思っております。

今後共、よろしく御指導をお願い致します。



沖縄支部

支部長 仲西 聰 土木工学科 昭和56年卒業

沖縄支部は現在実質会員が30数名の小規模支部ではありますが、毎回参加してくれる女性会員（皆、才色兼備）が3～4名いるという、おそらく他支部からすれば羨まれるような支部だと自画自賛しております。

ここ数年6月総会、1月新年会と年2回の行事を定例で行っていて、平成29年は6月14日（水）に校友会本部より枝広英俊常任幹事と大学から山下修経営企画

部部長を来賓にお迎えして、支部会員16名参加の第43回支部総会（写真参照）を開催しました。平成30年1月17日（水）には支部会員10名参加の新年会を開催しました。いずれも女性会員3名参加でした。

沖縄支部では、少人数ながら和気藹々、元気に活躍しております。



上海支部

支部長 芝田 明久 建設工学専攻 平成4年修了

今年の4月から、新たに新支部長に就任した芝田です。上海支部は2016年1月の設立から、2年が経過しました。上海～蘇州を中心とした、中国華東地区のOB/OGで活動しており、卒業学科も年齢も、幅広いメンバーが集まっています。今年1月の第2回支部総会には、大学側から五十嵐理事長、野口事務局長、校友会から中村副会長の御三方にもご参加いただき、新体制の選出、および、総会後には懇親を深めさせていただきました。

海外支部の性質上、駐在員の方が多いため、入れ替わ

りが激しいことが上海支部の特徴です。この春には設立当時からの中心メンバー3名が同時帰任となり、慰労の意を込めて壮行会を行いました。寂しくもありますが、新メンバーも加わり、新体制の下で活動の活発化に努めて参りたいと思います。

新規会員増加によりゴルフ経験者が増えたこともあり、ゴルフコンペを行う計画であります。この「支部紹介コーナー」をお読みの方で上海ご出張のご予定のある方、ぜひご参加ください。ご連絡をお待ちしております。



上海支部総会



壮行会

シンガポール支部

支部長 長尾 剛 建築工学科 昭和61年卒業

シンガポール支部は、2013年に設立され、今年3月で丸4年を迎えました。

当初は、15名程度の会員からスタートしましたが、少しずつ輪が広がり、2017年末には21名となっています。海外ということもあり、昨年は4名の方が異動され、新しく2名の方が加入されました。構成会員は、1969年卒業の方から2001年卒業の方まで幅広く、卒業学科は、建築・建築工学科卒の方が7割近くともっとも多く、その他、金属、工業化学、機械、土木の方となっています。

昨年度は、総会の他に夕食会などを開催し、会員間の親睦を深めてきました。設立後4年が過ぎましたので、

会員同士も自然に話しができる雰囲気となっています。シンガポール国内だけではなく、近隣のベトナムやタイ、マレーシアなどで仕事をされてきた方、現在されている方もおり、違う国々の話を聞けることは、非常に有意義な機会となっています。

今年はシンガポールあるいは東南アジアの近隣諸国にいらっしゃる芝浦工業大学の卒業生が、気軽に参加できるシンガポール支部にしていければと思います。また、現在在籍している会員の皆様の地道な声掛けと、日本人向けのフリーペーパーへの広告掲載などを通じて、会員を増やしていくと共に、さまざまな行事を通じて、会員間の親睦を深めていければと考えています。



<2018年1月26日（金）シンガポール日本人会茜にて行った総会後の写真。校友会 鈴見会長、中村副会長、芝浦工業大学 大坪理事が参加されました>

MOT同窓会支部

支部長 西河 洋一 工学マネジメント専攻 平成21年修了

「芝浦工業大学校友会 MOT 同窓会支部」は、2003（平成15）年に日本初の技術経営の専門職大学院として開設された、芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科（MOT）の修了生および、現・元教員が、技術経営者としての知識をより深めることを目的に開設され、会員数は、2018年3月に卒業した14期生を含めて259名となりました。芝浦MOTは、社長・副社長・重役等に就任した修了生も多く、実践的な専門職大学院として知られていましたが、2018年度の修了生を最後に15年の歴史を閉じることになりました。本支部は、芝浦MOTの精神を途絶えさせることなく、そこに関わった方々が切磋琢磨できる場として存続し続けます。現在、支部の役員とMOT教員を中心に、MOT終了後の活動のあり方について議論を始めています。

芝浦MOTで学んだOB・OGの交流や切磋琢磨を末永く続けていくためのイベント第1弾として、11月9日（木）に「芝浦MOT OB・OG交流会」を実施し、13名の参加がありました。（場所：芝浦工業大学芝浦キャンパス校友倶楽部）当日は、1期生の佐藤一弘氏（株式会社リンフォテック 代表取締役社長（当時））に講演をいただきました。参加した同窓生の近況報告がこちらで聞かれ、活気のある会となりました。その他、MOT在校生が主催する夏合宿に参加したり、定年退職される教員の最終講義を支援したりして現役の学生や教員とOB・OGの交流を積極的に行っています。

（連絡窓口）事務局長 志手 一哉（5期生）、

Email: shide@shibaura-it.ac.jp;



堀内義秀名誉教授の最終講義の様子（2016.7.2）

機械工学科同窓会支部

支部長 畠中 總一郎 機械工学科 昭和43年卒業

機械工学科同窓会支部は、校友会の学科同窓会支部の1号として2012年に設立された新しい支部です。ただし、現在のような同窓会としての活動は、昭和47年ごろから同窓生の有志が集まり定期総会を開催するなど、活動を始めてきました。

また昭和50年代からは、会員相互の親睦を図るとともに芝浦工業大学機械工学科の良き伝統を伝承し、社会に貢献することを目的に、会員名簿の発行、同窓会会報の発行、総会、幹事会、在校生との懇親、講演会などの開催を掲げ事業を行っています。

会員名簿については、個人情報保護の観点から、発行を中止していますが会報などを届けられるように6,000名を超える会員の名簿管理は絶えず進めています。会報の発行は毎年1回、今年は第35号を発行します。

大学および在校生の皆さんとの接点も大切にしており、教職員との懇親会を実施したり、新入生のオリエンテーションに協賛したり、卒業生にはささやかですが卒業記念品を贈呈しています。平成24年からは、3年生後期・機械ゼミナール1でPBL（問題解決型学習）の授業にコーチ役として参加しています。



英交会支部

支部長 浅野 昌宏 電子工学科 昭和44年卒業

◆学生との交流◆

英語部学生との交流を重視しており、社会人としての先輩である英交会員から学生へ各々の社会活動状況を伝え、支援を行っています。2017年6月17日、英交会支部監査役および芝浦技術士会会長でもある鯨井武殿（'79年通信工学科卒）により、「生涯現役エンジニアへの道」に関して、英語部学生と英交会員に対して講演を頂きました。講演後は、校友倶楽部で懇親会を開催し、学生からの質問に答える等、例年通り有意義な学生支援の場となりました。

◆遠隔地の英交会員との交流◆

2017年9月3日～4日、英交会員が活躍する地域訪問として名古屋と岐阜への親睦旅行を実施しました。この目的は、遠隔地在住で会う機会が少ない英交会員と交流が図れる場の創出として、年1回実施しています。

現地で下記の2名の英交会員に大変お世話になりました。丸嘉工業(株)代表取締役会長 土田英治殿（'69年金属工学科卒）

東邦電気工事(株)代表取締役 伊藤正樹殿（'79年工業経営学科卒）

◆2017年度の主な活動歴◆

- 6月 英語部学生との交流会（田町キャンパス）
- 6月 校友会全国総会参加
- 9月 親睦旅行（名古屋、岐阜）
- 10月 箱根駅伝予選会応援
- 11月 第53期英交会支部総会（田町キャンパス）
- 12月 忘年会（田町）
- 1月 校友会賀詞交歓会参加
- 2月 英語部4年生追い出しコンパ参加（渋谷）
- その他 6回に亘る英交会役員会（田町キャンパス）



学生との交流



遠隔地の英交会員との交流（岐阜県丸嘉工業にて）

黒潮会支部

支部長 岡野 浩一 建築学科 昭和58年卒業

空手道部 OB 会黒潮会は平成 13 年 12 月に校友会支部臨時総会を開催し、平成 14 年度黒潮会支部としてスタートし、今年で 17 年目を迎えます。

昨年 12 月総会では役員改選により支部長、監督ともに交代し新体制となりました。総会終了後、校友会より本間副会長、横田常任理事にご出席賜り芝浦キャンパス 7 階の校友倶楽部にて新役員発表会並びに卒業生送別会を開催しました。勝木部長先生、OB 諸先輩、部員 21 名、留学生 8 名とともに懇親を図りました。

部員全員で集まることも難しく目標を立て稽古に取り組むことができない中、ここ数年は大会で結果の残せない状況が続いていました。今後、空手道部部員の指導並

びに支援を黒潮会としてどのように進めていくか、新役員とともに結束し、邁進していきます。

平成 30 年度は 4 年生のリーダーシップのもと全部員がそれぞれ目標をたて充実した練習をおこない、その成果を大会で発揮できるよう黒潮会としてバックアップしていく所存であります。

部員の皆さんが卒業後は社会に貢献できる人として成長し活躍されることを期待します。また、黒潮会支部として相互交流を図り、一人でも多くの OB が集まる支部になるよう努力します。

今後、尚一層の活動の場を広げ、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。



二部ワンダーフォーゲル部OB会

支部長 伊藤 孝夫 機械工学科 昭和51年卒業

二部ワンダーフォーゲル部 OB 会は、昭和 36 年に第 1 期生が卒業してから、57 年目となります。会員数は、約 120 名で、全国各地におり、なかなか一堂に会することはできませんが定期総会などには毎年約 30 名程が参加しております。

本年、6 月には定期総会を行っています。前年度の決算報告や予算計画、その年の活動方針などが話し合われます。会員への連絡に当たっては、メーリングリストや、はがきなどを用いています。

また、月に 1 度の定例会を開催し、情報交換などを行っています。

昨年の 9 月には高杖セミナーハウスにて合宿を行い、会員や家族の方も含めて 18 名が参加して親睦を深めま

したが、残念なことに高杖セミナーハウスは閉鎖されました。これからは、バーベキューなど手軽に参加できる催し物や、その他の施設を利用して合宿を行っていききたいと思っています。

二部が廃止され部室を整理した時に、これまでのワンダーフォーゲル部の記録写真をどのような方法で保存するかなどがテーマとなり、総会などでも話し合いが行われました。その結果、デジタル化して保存する方向となりました。会員の皆様方にアルバムとして手元に置いて見ってもらうため写真の選択を行い、今年 2 月に 3 部からなる写真集“牛歩”を発行することになりました。

芝浦工業大学二部が廃止されて久しいですが、二部ワンダーフォーゲル部 OB 会は、活動を続けていきます。



錬心会支部

支部長 阿部 安行 建築学科 昭和45年卒業

2年後の2020年は、東京オリンピック開催の年ですが体育会剣道部は創部60周年を迎えます。現在、275名の会員が国内は基よりカナダ、米国で活躍されています。今年も10名の新会員が入会しました。錬心会支部は現役学生部員と年3回の合同稽古を開催しておりますが、柏豊洲の両付属中高校剣道部員も招待して、老若男女剣士が剣を交えて、親睦を深めております。昨年はこの稽古会に東京都市大学（旧武蔵工業大学）剣道部との定期戦を復活し、理工科系学生同士で切磋琢磨しました。

カナダ・トロント市に鎌田重隆先輩（S47年通信工学卒・元カナダ剣道ナショナルチーム監督・剣道八段）

が永住しております。ここ数年、現役部員は春休み1か月間、2～3名ずつホームステイしながらトロント大学他で剣道を通じて文化交流を行なっています。

今後も、現役学生部員の支援と大学ならびに校友会の発展に努めてゆきたく考えております。

支部長 阿部 安行（S45年建築学科卒）
副支部長 小坂 善雄（S45年工業化学卒）
副支部長 尾立 守道（S46年土木工学卒）
幹事長 鶴 崇（S46年建築学科卒）
会計監査 大久保勝示（S47年建築学科卒）



芝浦技術士会支部

支部長 鯨井 武 通信工学科 昭和54年卒業

前年度の活動実績：

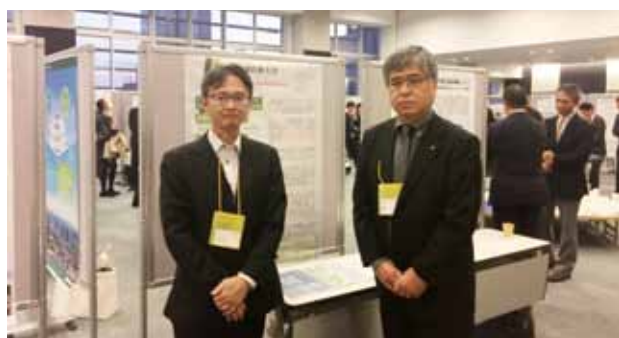
芝浦技術士会は、会員数253名を擁し、公益社団法人日本技術士会と連携する大学別の組織です。

私たちの現在の主な活動は、生涯学習講座として開講している「技術士試験対策講座」と、技術士の継続研鑽に繋がるCPD講座の開催です。技術士は、「技術士法」に定められた国家資格であり、一次、二次試験に合格する必要があります。芝浦技術士会は、講座を通じて受験者を支援すると同時に、講師と受講生のコミュニケーションを通じて生涯現役技術者としての価値の共有も学んでいただいております。

一方、CPD講座では学内の先生方、並びに学外の技術士や専門家による先端技術、研究の御講演を頂き、知識の拡充に努めております。第一回は、情報工学のスペ

シャリスト集団である「IT21の会」との初のコラボレーションによる「ロボット技術の講演とシンポジウム」、第二回は、「モノづくり現場と経営工学的視点に基づくAI、IoTの活用動向」に関する講演会開催しました。

また、芝浦工業大学との連携を目的として、COCシンポジウムのポスターセッションや産学官連携研究報告会等に参加し、地域創生に寄与すべき活動も開始しました。また、地域企業の支援活動も行える体制、環境の整備を進めます。私たち芝浦技術士会が目指すところは、芝浦工業大学と校友会会員の皆様方と一緒に、日本の技術、産業界並びにグローバルな課題を共に考え、一歩ずつ継続的に改善していくことです。何卒、宜しくお願い申し上げます。



2017年10月31日地域共創シンポジウム ポスター説明



硬式野球部OB会支部

支部長 前野 和博 工業経営学科 昭和46年卒業

平成 29 年硬式野球部 OB 会支部総会は、11 月 25 日（土）に豊洲キャンパス教室にて、13 名の支部会員の出席のもと開催致しました。来賓として大学から丁（チョン）学事部長、校友会からは中村副会長のご出席を頂きました。また、総会終了後には豊洲キャンパス食堂において現役選手を招き、激励会と懇親会を兼ねながら総勢 50 名程度のパーティーを開きました。

今年は、硬式野球部 OB 会発足 23 年。校友会支部となって 5 年目となります。OB 会幹事としては、総会への出席者を一人でも多く集め、その輪を広げて行くのが使命と考えております。女性の OB（元マネージャー）も何人かおります。

この若い OB 会員の皆さんに参加頂けるのが大きなポイントです。その実現の為に、話題性も含めて現役硬

式野球部が強くなる事が最低限の条件ではないかと思えます。

昨年の 4 月から大宮キャンパス野球グラウンドは、人工芝総合グラウンドに生まれ変わりました。練習環境も大きく変わっています。早々に、新入生部員が 18 名と例年の倍以上の人数が入部しました。しかも、活躍出来る素質を持った学生が多く驚きです。この様に、練習環境等をチェックして、入部動機とする学生気質を改めて知る事が出来ました。本年も同様に多くの一年生が入部予定で、昨年に続き活躍が期待出来る学生も何名か入部しました。

今後も、硬式野球部の活躍に期待しながら、本年末に開催される硬式野球部 OB 会支部総会が無事に開催される事を祈念致します。



ハンドボール部OB会支部

支部長 井出 恵尉 工業経営学科 昭和47年卒業

ハンドボール OB 会支部です。2014 年に承認されてから、今年で支部創立 4 年目となり、会員数は 110 名でスタートしました。年々支部会の会員の数が増えて来て、支部総会の出席者も最初は 25 人でしたが、昨年の 10 月の支部総会では、出席者が 40 人を超え、徐々にかつての OB 会の活気がよみがえってきました。

支部の活動の内容としては、幹事会を年 4 回行い、1 年間の活動計画を立て、10 月に行われる支部総会では、1 年間の支部会の活動報告と、OB・現役生との親睦会を行っています。あくまでも、現役生の活動支援を主体として、ユニホームを作ったり、合宿費用の援助、リーグ戦の応援等少しでも現役生がプラスになり、かつての名門芝浦に近づけるよう日々努力をしています。

また、支部総会では、現役生と OB がハンドボールの

ことだけでなく、就職についての相談やアドバイスをするなど、有意義な交流が行われています。

支部会の役員の紹介

支部長	井出 恵尉	(S40 年工業経営学科卒)
副支部長	大村 俊樹	(S56 年機械工学第二学科卒)
幹事	池田 鉄哉	(S40 年電気工学科卒)
事務局	河村 登	(S60 年土木工学科卒)
会計	大岡 忠仁	(S59 年機械工学第二学科卒)
	川合 誠	(S60 年工業経営学科卒)
会計監査	大桐 誠	(S56 年土木工学科卒)
	大森 雅樹	(S59 年機械工学第二学科卒)

以上 8 人で支部会の運営をしています。これからも、支部会の活動がより活発になることを目標に頑張りたいと思います。



スキー部OB会支部

支部長 樋口 智美 建築学科 昭和38年卒業

この度、山田支部長より交代致しました樋口と申します。ご指導の程よろしくお願い致します。

交代致しました主旨は冬期競技で北海道出身者が多く道内に就職したOBが多数で、活動が盛んな事から本部を道内に設置致しました。

私はOB会発足当初より北海道支部長をしておりました関係で引き継ぐ事になりました。

スキー部の歴史は昭和34年に全日本学生スキー選手権大会に参加、二部で8位でした。この時、部としての体制は無く、同年に10人の新人が入部し、体制が出来ましたのでこの時期が創部と言っても過言で無く、昭和35年の大会から芝浦の快進撃が始まりました。

昭和36年には二部で総合優勝し、一部に昇格、昭和38年の大会で3位を獲得、以後昭和44年には一部で総合優勝するまでになりました。

インカレ一部優勝後、昭和52年まで一部で出場しておりましたが、その後部は衰退いたしました。

個人では学生大会(インカレ)に限らず、インスブルック、グルノーブルと2回のオリンピック出場の野戸恒男氏、世界スピード選手権で優勝した故森下勝氏、昭和47年の札幌オリンピックには佐々木信孝氏、古川年正氏、柏木正義氏、鈴木謙二氏等芝浦工業大学の名声を歴史に残しました。平成9年には全日本学生スキー連盟70周年記念に6名が表彰盾を受賞いたしました。

現在、スキー部OB会は芝浦工業大学のみならず、道内在籍の各大学のOBと親交を深めており、「インカレスキー卒業生の集い」を中心的に進め、現在10校50名を超える懇親会に発展しております。

これからもOB結束して各方面で活躍したいと思っております。



熱流体力学研究会支部

支部長 加藤 善次郎 機械工学科 昭和55年卒業

「熱流体力学研究会支部」は、昨年3月4日に豊洲キャンパスに於いて、校友会本部飯島監査役を招き、43名の卒業生が参加して支部設立総会を開催しました。その後の常任幹事会にて承認され、晴れて校友会支部となりました。支部としては出来立てほやほやの支部です。

熱流体力学研究室は、昭和45年岡本史紀先生を迎え、その後、同研究室の卒業生でもある角田先生に引き継がれ、現在48年の歴史のある研究室であり、卒業生は、600名を超える団体です。そして「熱流体力学研究会支部」は、熱流体力学を学んだ卒業生の為の懇親・情報交換・技術交流を図り、卒業生同士のビジネスマッチン

グを促進すると共に、熱流体力学を中心とした産学一体のフォーラムを開催して、最新の技術をビジネスに役立ててもらふ事を目的に設立しました。

また、現在も卒業生を排出し、その研究を中断する事なく、現角田研究室の研究生の就職支援や研究開発支援をし、将来日本の工学を担う人材の育成と、そして母校の発展を願ってまいります。

今後、尚一層の活動の場を広げ、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。



三芝会支部

支部長 岩本 毅 建築工学科 昭和63年卒業

三芝会は三井住友建設の芝浦工業大学卒業生で構成される校友会職域支部です。現在62名で活動しております。

2018年3月15日(木)に芝浦工業大学校友会倶楽部にて、支部総会を開催しました。芝浦工業大学からは五十嵐久也理事長、野口一也常務理事、校友会からは野上宏明事務局長、岩本行雄顧問にご出席いただきました。

当会からは正会員が10名、賛助会員が105名参加し、支部総会、懇親会を開催いたしました。懇親会では各自の近況を報告していただき盛会のうちに終了することが

できました。ご参加いただいた来賓の方、賛助会員の方、正会員の方に感謝いたします

建設会社の特性上、会員が全国で業務に当たっており、なかなか全員が集まる機会がなく、支部総会の出席者の確保においても難しい面がありますが、このような状況を理解してくださる支援者の方に助けられながら会を継続しております。

改めて校友会の発展に貢献してまいりますのでよろしくお願いいたします。



鹿芝会支部

支部長 増田 孝弘 建築工学科 昭和63年卒業

鹿芝会は鹿島建設及びグループ会社の芝浦工業大学卒業生で構成する校友会職域支部です。会員数は2018年4月現在で約130名となっており、役員クラスから、新入社員まで幅広い年齢層で活動しています。これまで鹿芝会を盛り上げて頂いた諸先輩方の軌跡をまた次世代に引き継いでいけるよう、2013年より現会長の増田会長(昭和63年 建築工学科卒)が主となり支部活動の更なる活性化を図っています。

主な活動内容は、各種芝浦工業大学校友会活動への参加、年に1度の総会、年に2回の定例会、学生へのリクルート支援が大きな行事となっています。

年に1度の総会では東京近郊勤務者20名程度が田町校舎に集まり、1年間の支部活動の報告や、校友会クラブにて近況報告などを通し懇親を深めています。2017年度は、「仕事以外の自分」をテーマに、事前に各自PPT1枚の資料を作成しての近況報告を行いました。なかなか見ることのできない会員のプライベート写真に、大変盛り上がりしました。また、例年6名前後の新入社

員を新規会員に迎え入れており、年々若さに活気付いております。

年2回開催している定例会では、同校出身であるからこそ相談できる仕事の悩みや、先輩方のアドバイスをもらいながら、日々の業務に繋がるようなコミュニケーションづくりをしています。学生へのリクルート支援は、リクルーター活動はもちろんのこと、会員の現場に学生を招いて説明会や見学会なども開催しました。

鹿島建設は従業員数も多く、部署や支店が異なれば同じ社内でも出会うこともなく、ましてや大所長、部署長であったりすれば、なかなか会話する機会も無いなか、芝浦工業大学卒と言う事で懇親を深められていることは、仕事面でもプライベートでも大きな財産となっています。鹿芝会を、これからも会員全員で盛り上げて行けたらと思っています。

最後に、芝浦工業大学のますますのご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



鹿芝会総会 田町校舎校友会クラブにて

清水建設芝浦会支部

支部長 中村 行男 建築学科 昭和56年卒業

清水建設芝浦会は平成12年3月16日に発足し、今年で18年目となりました。4月には10名の新入会員を迎え、平成30年4月1日付の会員が計163名となりました。

清水建設芝浦会では、1年に1度、総会および懇親会を行っており今年も4月20日に行いました。今年も50人程集まり、若手の参加も常に多く、毎年盛大に開催しています。

今年度は大学側から専務理事の早乙女徹様、校友会から監査役の飯島敏春様に足をお運びいただきました。



懇親会では毎回恒例の、新入会員から抱負を一言頂き、返答として各世代の先輩方から暖かい激励を送ります。また、今年も昇進された方からも一言頂きました。皆さんで今までの仕事を労い、更なる活躍を祈念しています。新入会員にも眩しく映るようです。

頂戴した緑地に黄色が映える『支部旗』を前に、世代・学科・業務を超えてこの1年の成果、学科ごとの就職支援なども報告し、盛会となりました。

最後に芝浦工業大学のますますの発展と、校友会皆様のさらなるご健勝を祈念いたしております。

住芝会支部

支部長 鈴木 一巳 電気工学科 平成元年卒業

住芝会は平成14年1月に発足し、今年で17年目となる職域支部です。住芝会の活動としては毎年一度、定期支部総会及び懇親会を行っております。

昨年は9月6日(水)に定期支部総会及び懇親会を無事開催することができました。学校側から村上常務理事・本間先生、校友会から林田副会長・野末様にご出席いただき、大学の現状や校友会活動の報告等とても有意義なお話を聞かせていただきました。

また同支部総会では役員の改選も行なわれ、会長以下6名の役員が新年度の活動運営に向け新たな発進を致しました。新役員一同でさらに盛り立てて行きたいと思っておりますので、引き続きよろしくご祈念致します。



住芝会総会

懇親会の最後には、頂戴した支部旗をバックに全員で校歌を斉唱し、盛会裡に会を閉じることができました。

今年も9月に支部総会及び懇親会の開催を予定しており、更なる会員相互の交流と親睦を図ってまいります。

会員は現場従事者が多く、一堂に会することが少ないため、支部総会はとても貴重な場でもあります。住芝会は決して大きな組織ではありませんが、今後も積極的且つ継続的に校友会活動に参加してまいり所存ですので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくご祈念致します。

最後になりましたが、母校芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



住芝会懇親会

フジタ芝浦会

支部長 森田 真治 電気工学科 昭和58年卒業

今年度よりフジタ芝浦会支部の支部長に選任されました昭和58年電気工学科卒業の森田 真治と申します。よろしくお願い致します。

さてこの度 平成30年4月6日(金)「新宿グレースバリ新宿本店」にて平成30年度のフジタ芝浦会支部総会・新入社員歓迎会を開催いたしました。

フジタ芝浦会では毎年、新入社員が研修を行う4月初

旬に支部総会を兼ねた新入社員歓迎会を開催しています。

今年度は首都圏に在籍する19名の会員とともに6名の新入社員を迎え入れ25名の開催となりました。

これで支部会員数は全国で99名となります。

この総会・歓迎会では、各委員からの近況報告、新入社員へのアドバイスや情報交換の場として、益々活気ある活動を続けています。



不動産建設芝浦会

支部長 清水 修司 建築学科 昭和44年卒業

不動産建設芝浦会は平成26年に活動を開始した比較的新しい団体で、建設業や不動産業へご興味のある芝浦工業大学卒業生の方であれば、学科や学部は問わず入会できる団体です。

本会は、卒業生同士の交流を深め、そして互いのビジネスをより活発にさせていただくことを趣旨として、幅広い年齢、業種の方にご参加いただいております。これまで、卒業生同士の交流から様々なビジネスチャンスが生まれております。また、若い方も多く参加しており、積極的に意見し、諸先輩方と共にビジネスを進めています。

活動の場は、芝浦工業大学芝浦キャンパスはもちろんのこと、ご好意により卒業生の方々の会社でも開催させていただいております。(飯田グループホールディング

ス株、(株)ニッテイライフ、(株)SD建築企画研究所など)

日時は、毎月第3木曜日の18:30から開催しており、不動産や建設を中心に様々な情報交換を行っております。そして、その後の懇親会では、杯を交わしつつ先輩・後輩の仲で忌憚ない意見交換を行っております。

そして、卒業生の方々のビジネスをさらに広めるため、他校との連携を深めるべく大学不動産連盟などへの加盟も目指し、地域会などへの参加も精力的に行っております。

また、今後は卒業生の方を講師に招いて、仕事に役立つセミナーや講演会も予定しております。

不動産建設芝浦会は、新卒業生の方はもちろん、卒業されてビジネスをされている諸先輩方のご参加を心よりお待ちしております。



発足会 於 東急リパブル(株)



第10回不動産建設芝浦会 於 芝浦キャンパス

“支部旗” 全国にひるがえる

芝浦工業大学校友会は本年で設立 90 周年を迎えました。

校友会は、地域支部・海外支部・同好会支部・職域支部を合すると全国で 91 の支部数になり、卒業生は国内外のあらゆる地域、会社などで活躍しています。



平成29年全国総会で揚げた支部旗



支部旗

支部旗は、我ら同窓生の旗じるしであり、永遠に芝浦工業大学の卒業生としての誇りであります。

支部総会を連続 4 回開催し、各回 10 名以上の参加者があり、継続して開催されている支部に授与されます。

これから授与される支部のご健闘を祈ります。

校友会「会員名簿」について

校友会では、2017 年 3 月に校友会会員名簿を刊行し販売しております。2016 年 3 月時点での卒業生、約 50,000 名が掲載されております。お仕事や同好活動など会員同士の連絡にお使いください。

●名簿の内容について

この名簿は卒年、学科単位だけではなく、各県別、郵便番号順に編集したものです。このため各市町村にどのような会員（卒業生）がおられるか把握でき、地域での会員の繋がりと利用し易さを目指し編集されたものです。

なお、制作に当たっては個人情報保護法を遵守することは当然ですが、その精神を尊重するとともに、大学とも十分協議し、制作したものであることを付け加えさせていただきます。

●ご購入方法について

芝浦工業大学卒業生に限り、お一人様一冊のみご購入いただけます。氏名、卒年、学科、送付先住所および「名簿購入」と明記の上、代金 5,000 円（送料込）をご送金ください。ご入金確認次第発送いたします。

《御振込先》 郵便局 加入者名 : 芝浦工業大学校友会
口座番号 : 00160-5-9575



◀ 5,000 円
(送料込)

芝浦工業大学校歌 CD の販売



「曲目」

1. 芝浦工業大学校歌
2. 応援歌
3. 校歌演奏
指揮：金 洪才
独唱：望月 哲也
演奏：新日本フルハーモニー交響楽団

「校歌」

作詞：北原白秋
作曲：山田耕作

● CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】
〒108-8548
東京都港区芝浦 3-9-14 芝浦工業大学内
TEL : 03-5445-9634 FAX : 03-5445-9635
e-mail : sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会
口座番号：00160-5-9575

校友会 常任幹事会 名簿

(役員を除く) 平成30年6月9日 現在



常任幹事
中村 宏
土木工学科 昭和37年



常任幹事・組織委員会
前野 和博
工業経営学科 昭和46年



常任幹事・例規委員会・
財務委員会
神野 兼次
建築工学科 昭和49年



常任幹事・組織委員会
大丸 征史
電子工学科 昭和39年



常任幹事
橋 昱弘
建築学科 昭和46年



常任幹事
川本 勝一
建築学科 昭和49年



常任幹事・組織委員会
金井 昭三
機械工学第二学科 昭和41年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
赤井 和憲
土木工学科 昭和47年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
小貫 諭
工業化学科 昭和50年



常任幹事・財務委員会
浅野 昌宏
電子工学科 昭和44年



常任幹事・特別委員会
井出 恵尉
工業経営学科 昭和47年



常任幹事・例規委員会
鈴木 卓
金属工学科 昭和50年



常任幹事・組織委員会
橋本 雅夫
建築学科 昭和45年



常任幹事・組織委員会
長井 義明
建築学科 昭和47年



常任幹事・事業委員会
森本 静
工業経営学科 昭和50年



常任幹事・組織委員会
小野瀬 等
通信工学科 昭和45年



常任幹事・事業委員会
野口 博文
土木工学科 昭和47年



常任幹事・特別委員会
浅見 勝
建築学科 昭和51年



常任幹事・総務・広報委員会
小平 和一郎
電子工学科 昭和45年



常任幹事・財務委員会
森川 理
電子工学科 昭和47年



常任幹事・校友会事務局長
野上 宏明
金属工学科 昭和51年



常任幹事・組織委員会
谷川 潮
機械工学第二学科 昭和45年



常任幹事
住友 正樹
建築学科 昭和47年



常任幹事・例規委員会
早川 金光
建築学科 昭和51年



常任幹事・事業委員会
植松 恵一
通信工学科 昭和46年



常任幹事・総務・広報委員会
佐野 茂彰
機械工学科 昭和48年



常任幹事・財務委員会
依田 幸秀
金属工学科 昭和51年



常任幹事・組織委員会
内田 武男
土木工学科 昭和46年



常任幹事・事業委員会
高木 光一
機械工学科 昭和48年



常任幹事
渡邊 淳悦
建築学科 昭和51年



常任幹事・特別委員会
枝広 英俊
建築学科 昭和46年



常任幹事
高野 義昭
土木工学科 昭和48年



常任幹事・組織委員会
犬塚 祥二
建築工学科 昭和54年



常任幹事・特別委員会・
在校生就職支援委員会
角野 和明
建築学科 昭和46年



常任幹事・事業委員会
斎藤 教男
建築学科 昭和49年



常任幹事・例規委員会・
在校生就職支援委員会
鯨井 武
通信工学科 昭和54年



常任幹事・財務委員会
安齋 正博
機械工学第二学科 昭和55年



常任幹事・事業委員会
田村 稔
建築学科 昭和55年



常任幹事・総務・広報委員会
中根 眞行
工業経営学科 昭和55年



常任幹事・財務委員会
文倉 辰夫
電気工学科 昭和55年



常任幹事・特別委員会
筋野 豊司
機械工学第二学科 昭和56年



常任幹事・事業委員会
平井 良樹
工業経営学科 昭和57年



常任幹事・組織委員会・
在校生就職支援委員会
山口 幸治
建築工学科 昭和57年



常任幹事・財務委員会
作山 康
建築工学科 昭和58年



常任幹事・組織委員会・
在校生就職支援委員会
野口 忍
工業経営学科 昭和58年



常任幹事・事業委員会
柴田 眞利
工業化学学科 昭和59年



常任幹事・財務委員会・
在校生就職支援委員会
角田 隆二
土木工学科 昭和59年



常任幹事・特別委員会
佐々木 克則
電気工学科 昭和60年



常任幹事・例規委員会
百瀬 和浩
建築工学科 昭和60年



常任幹事・組織委員会
渡辺 通宏
二部機械工学科 昭和60年



常任幹事・特別委員会
山田 サトシ
建築学科 昭和61年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
内山 毅
金属工学科 昭和62年



常任幹事・総務・広報委員会
佐藤 勝
二部機械工学科 昭和62年



常任幹事・総務・広報委員会
藤田 利行
電気工学科 昭和62年



常任幹事・例規委員会
岩本 毅
建築工学科 昭和63年



常任幹事・総務・広報委員会・
在校生就職支援委員会
大森 隆広
建築工学科 昭和63年



常任幹事・事業委員会
鶴 浩一郎
建築学科 昭和63年



常任幹事・事業委員会
村島 充裕
建築学科 昭和63年



常任幹事・総務・広報委員会
安藤 吉伸
機械工学科 平成1年



常任幹事・特別委員会
福田 栄寿
機械工学第二学科 平成1年



常任幹事・財務委員会
荻谷 義治
金属工学科 平成2年



常任幹事・例規委員会
鈴木 洋
通信工学科 平成2年



常任幹事・例規委員会
武藤 憲司
通信工学科 平成3年



常任幹事・例規委員会
齋藤 敦史
通信工学科 平成4年



常任幹事・例規委員会
安田 俊司
機械工学第二学科 平成4年



常任幹事・例規委員会
山口 正樹
電子工学科 平成5年



常任幹事・特別委員会
新井 剛
金属工学科 平成7年



常任幹事・事業委員会
市川 拓
機械工学第二学科 平成8年



常任幹事・組織委員会
坂地 世紀
建築学科 平成8年



常任幹事・組織委員会
板垣 真人
建築工学科 平成9年



常任幹事・事業委員会
福井 浩二
工業化学科 平成10年



常任幹事・総務・広報委員会
中川 雅史
土木工学科 平成12年



常任幹事・事業委員会
野元 明俊
二部電気工学科 平成12年



常任幹事・事業委員会
小坂 哲平
土木工学科 平成15年



常任幹事・事業委員会・
在校生就職支援委員会
西河 洋一
MOT 平成21年



常任幹事・総務・広報委員会
今井 理裕
材料工学専攻 平成14年



常任幹事・総務・広報委員会
滝下 勇
二部電気設備学科 平成16年



常任幹事・総務・広報委員会
川野 亜希
応用化学科 平成23年



常任幹事・財務委員会・
在校生就職支援委員会
中島 毅
材料工学科 平成14年



常任幹事・事業委員会・
在校生就職支援委員会
田口 智大
建築工学科 平成16年



常任幹事・事業委員会
福井 幸博
地域環境システム専攻
平成23年



常任幹事・事業委員会
奥田 耕一郎
環境システム学科 平成15年



常任幹事・総務・広報委員会
畠山 佳代
環境システム学科 平成17年

校友会 相談役・顧問 名簿

平成30年6月31日 現在



顧問
岡本 嘉行
建築学科 昭和34年



顧問・総務・広報委員会
小川 誠
機械工学第二学科 昭和41年



顧問・組織委員
渡辺 碩
建築学科 昭和45年



顧問・組織委員
滝澤 厚征
建築学科 昭和39年



顧問・組織委員
雲然 國幸
機械工学第二学科 昭和41年



顧問・総務・広報委員会
泉澤 定雄
建築学科 昭和46年



顧問・組織委員
田口 継道
建築学科 昭和39年



顧問・事業委員
畠中 總一郎
機械工学科 昭和43年



相談役・組織委員
郡司 卓臣
機械工学科 昭和43年



顧問・例規委員
今村 均
機械工学科 昭和40年



顧問・事業委員
吉野 巖
機械工学科 昭和43年



顧問・組織委員
岡本 泰明
機械工学科 昭和41年



顧問・組織委員
岩本 行雄
工業化学 昭和44年

校友会 支部及び支部長紹介

平成 30 年 6 月 9 日現在

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
北海道	米澤 稔	44・建築学科
青森	木村 喜有	44・土木工学科
岩手	遠藤 龍一	50・建築工学科
秋田	池田 広志	55・建築工学科
宮城	杉崎 年英	48・土木工学科
山形	川越 進	46・土木工学科
福島	斎藤 敬一郎	34・建築学科
栃木	池田 猛	48・土木工学科
茨城	増山 栄	47・建築学科
群馬	半田 公作	52・建築工学科
埼玉	吉池 富士夫	51・金属工学科
千葉県	金井 昭三	41・機械工学第二学科
東京総支部	谷川 潮	45・機械工学第二学科
多摩	中根 眞行	55・工業経営学科
神奈川	長井 義明	47・建築学科
新潟	臼井 静男	48・土木工学科
長野	北村 武彦	45・建築学科
山梨	渡辺 一郎	46・建築工学科
富山	辻田 恵一	47・機械工学第二学科
石川	西 正次	49・土木工学科
福井	西浦 正三	45・土木工学科
岐阜	平井 良樹	57・工業経営学科
静岡県同窓会	鈴木 和幸	50・土木工学科
愛知	榊原 周造	45・建築工学科
三重	谷水 佐久也	50・電子工学科
関西	松岡 英治	54・建築学科
鳥取	富本 哲郎	40・電気工学科
岡山	沖本 光昭	45・通信工学科
島根	浅野 正教	45・建築学科
広島	立木 貢	43・土木工学科
山口	福田 隆行	50・土木工学科
香川	田岡 哲也	57・金属工学科
徳島	宮本 博	47・建築学科
愛媛	高木 二郎	47・建築学科
高知	吉本 哲生	50・土木工学科
大分	河野 元勝	45・土木工学科
福岡	角 敬之	45・工業化学科
宮崎	尾形 彰史	52・建築学科
熊本	永田 昂生	42・土木工学科
佐賀	山田 清人	48・通信工学科
長崎	藤本 博文	61・工業化学科
鹿児島	濱田 英俊	43・電気工学科
沖縄	仲西 聰	56・土木工学科
韓国	金 範得	19・土木工学科

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
台湾	江 文雄	63・機械工学第二学科
タイ王国	川口 祐司	53・工業化学科
上海	芝田 明久	H4・建設工学専攻
シンガポール	長尾 剛	61・建築工学科
MOT 同窓会	西河 洋一	H21・工学マネジメント専攻
機械工学科同窓会	畠中 總一郎	43・機械工学科
よろく会	小寺 貴士	46・通信工学科
英交會	浅野 昌宏	44・電子工学科
黒潮會	岡野 浩一	58・建築学科
二部ワグナーフォーゲル部OB会	伊藤 孝夫	51・機械工学科
錬心會	阿部 安行	45・建築学科
柔道部 OB 会	早川 金光	51・建築学科
ギター部 OB	渋谷 雅信	53・建築学科
芝浦技術士会	鯨井 武	56・電気工学専攻
硬式野球部OB会	前野 和博	46・工業経営学科
TBT(鳥人間)OB・OG同好会	安保 知佳	H27・通信工学科
ハンドボール部OB会	井出 恵尉	47・工業経営学科
ソフトテニス部OB会	早川 昇	44・建築学科
ヨット部OB会	柴田 真利	59・工業化学科
スキー部OB会	樋口 智美	38・建築学科
熱流体力学研究会	加藤 善次郎	55・機械工学科
奥村組芝浦会	坂地 世紀	H8・建築学科
神奈川県庁	鈴木 祥一	56・土木工学科
川崎市役所	藤倉 茂起	56・土木工学科
関電工芝浦会	鈴木 雅久	56・建築工学科
京三	片山 雅則	56・電気工学科
熊谷組芝浦会	宮澤 守	H3・建築学科
五洋建設芝浦会	柳沢 純一	62・建築工学科
三芝會	岩本 毅	63・建築工学科
鹿芝會	増田 孝弘	63・建築工学科
清水建設芝浦会	中村 行男	56・建築学科
住芝會	鈴木 一巳	H1・電気工学科
大成芝浦会	伊勢 正明	H6・建築学科
ダイタン	近藤 孝	56・建築工学科
大日本土木	長谷川 勝己	56・土木工学科
高砂熱学工業	竹内 祥貴	55・電気工学科
竹中芝浦会	安岡 千尋	57・建築工学科
戸田建設芝浦会	古越 仁	55・電気工学科
日比谷芝浦会	岡本 正仁	45・建築学科
フジタ芝浦会	森田 真治	58・電気工学科
芝友會	中村 信夫	19・機械工学科
不動産建設芝浦会	清水 修司	44・建築学科
ラグビー部OB会	山田 豊人	54・電気工学科



校友サロン利用のお願い

皆さんのお越しを
お待ちしております。



小野瀬支配人とアシスタントの
川嶋さんと(左)富田さん(右)

利用に関して

- ・卒業生であることが前提です
- ・料理の内容など相談に応じます
- ・人数 各20名程度迄
(ホワイト・ブラック両方利用で立食形式の場合80名程度まで可能です)



空き状況の確認・ご予約はこちらまで

☎ 03-5445-9646

FAX 03-5445-9635

E-mail: h-onose@shibaura-koyu.jp

校友倶楽部 支配人 小野瀬 等

利用料金 飲み放題付き お一人様4,000円から
室料:ホワイト・ブラック共に一室 10,000円

利用時間 月曜日～金曜日 14時～17時、17時～21時
飲酒を伴う利用は17時以降
20時30分オーダーストップ

土曜日は要相談をお願いします。また、20名以下のご利用は
お断りいたします。日曜・祝日:定休日 *一団体2時間制です



卒業生の皆様へ

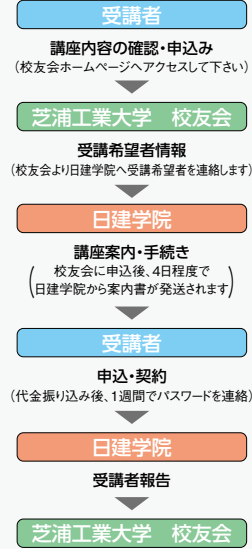
資格取得講座の御案内

芝浦工業大学校友会では、日建学院と提携し資格取得講座への紹介を行っております。校友会を通して申し込むと、通常学費より安く受講できますので、スキルアップやキャリアアップに是非お役立て下さい。

受講できる講座は日建学院が提供している講座6種です。これはWEB講座でインターネットを使用した動画による講義(個別コース)と通学による講義(通学コース)です。講義の内容はこの講座用に企画し、吟味されているものですので講師による不得手などが排除されており、効率的な学習により効果が期待できます。また、WEB講義は、通学が難しい地方や海外勤務の方でも受講可能です。(※事前に体験版で動作確認下さい)

□ 提供する講座	【一般学費】	【校友会特別学費】
■ 1級建築士学科(Web) 講座(個別コース)	＝ 300,000円	➔ 150,000円(30年度受験)
■ 2級建築士学科(Web) 講座(個別コース)	＝ 300,000円	➔ 142,000円(30年度受験)
■ 宅地建物取引士(Web) 講座(個別コース)	＝ 100,000円	➔ 80,000円(30年度受験)
■ 1級建築士学科 本科 講座(通学コース)	＝ 500,000円	➔ 428,000円(30年度受験)
■ 1級建築施工学科 講座(通学コース)	＝ 250,000円	➔ 209,000円(30年度受験)
■ BIM入門講座(Web) 講座	＝ 10,000円	➔ 6,000円(30年度受験)

□ 案内から申込みまで



□ 講座内容

- 講座内容は日建学院ホームページでも確認できます。
- 日建学院ホームページ
<http://www.ksknet.co.jp/nikken/>



□ 申込方法

- 校友会ホームページ上から必要事項を記入しお申込下さい。
校友会ホームページ <http://www.shibaura-koyu.jp/>
- 校友会にお申込後4日程度で日建学院から案内書が発送されます。
- 代金振り込み後、1週間でパスワードが通知されます。

■ ご不明な点は校友会事務局にお問い合わせください

芝浦工業大学 校友会 事務局

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
TEL: (03) 5445-9634 FAX: (03) 5445-9635
E-mail: sitfriends@shibaura-koyu.jp

技術士試験対策講座のご案内

本講座は、技術士試験受験者の合格サポートを目的としています。
他に類を見ない特別料金で芝浦工業大学の教員が合格を全力サポートしています。

申込みはこちら



技術士資格取得へのプロセス

① 大学エンジニアリング課程修了者

② 一次試験(筆記試験)
(日本技術者教育認定機構(JABEE)の教育課程修了者は一次試験免除)

一次試験対策講座
大学で学んだ講義を振り返り、過去の出題傾向の分析をもとに基礎・適性科目、電気電子部門、機械部門、建設部門各分野の基礎について解説します。広い出題範囲の中から取捨選択することは困難であることから、ポイント整理に役立ちます。

合格

③ 修習技術者(登録で技術士補)
(一次試験合格者及びそれと同等と認められた者)

④ 指導技術士の下で実務経験4年または、
優れた指導者の監督の下で実務経験4年または、
実務経験7年のいずれかを満たした者

⑤ 二次試験(筆記試験、口頭試験)

二次試験対策講座
受験申込書・業務経歴票(技術的体験)の書き方、答案作成、口頭試験のポイントに重点を置き講義、答案添削を行います。電気電子部門、機械部門、建設部門で受験される方をサポートします。また、講座動画の配信を開始しました。

合格

⑥ 技術士登録

【お問い合わせ先】
芝浦工業大学 校友・後援会連携課(内 芝浦技術士会事務局)
Tel. 03-5859-7030 / Fax. 03-5859-7031
E-mail: koyu@ow.shibaura-it.ac.jp

校友会本部事務局紹介

校友会会員の皆様へ

芝浦工業大学校友会本部事務局の事務局長を務めさせて頂いております、S51年金属工学科卒業の野上宏明と申します。

昨年10月より岩本前局長に代わり入局し、早いもので半年が過ぎました。今後も全国の校友会会員の皆様には色々とお世話になるかと思いますが、事務局として今後の校友会発展の為、誠心誠意頑張っていく所存ですので、宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

今後とも校友会本部事務局を宜しくお願い申し上げます。

芝浦工業大学校友会本部事務局 事務局長 野上 宏明

昨年12月より勤務しております宮坂文枝と申します。

明るく楽しくをモットーに、微力ではございますが校友会の皆様のお力になれますよう日々努力してまいります。至らない点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくご指導の程、お願い申し上げます。

芝浦工業大学校友会本部事務局 宮坂 文枝

4月より校友会でお世話になっております中瀬古幸子です。

支部の皆様や校友会会員様からのお問合せや各委員会の運営補助的な作業を行わせて頂いております。不慣れなためご迷惑をお掛け致しますが、精一杯取り組みますので、ご指導よろしくお願い致します。

私のストレス解消法は、ズバリ呑むことです。特にワインが大好きなので、ワイン好きな方、ぜひ声をかけてください。

芝浦工業大学校友会本部事務局 中瀬古 幸子

SHIBAURA

ORIGINAL GOODS

● 大学オリジナルグッズがリニューアル!

芝浦工大の校章とスクールカラーの新緑をモチーフとしたオリジナルグッズが販売されています。

2014年よりマグカップやクッキーなども増え、ラインナップも豊富です。

一番人気は校章マークの入ったコロパンのクッキー、次いでマグカップ・湯飲みが好評です!



湯呑み 700円

マグカップ 750円



クリアフォルダ (大学名入り) 130円
クリアフォルダ (校歌入り) 130円



ボールペン 100円
シャープペン 100円



スカーフ 4,000円
ネクタイ 4,000円



クッキー 9枚 (箱入り) 700円
クッキー 19枚 (缶入り) 1,400円

(※いずれも税込み)

お問い合わせは、以下までお願いします。
芝浦工業大学 校友会
TEL : 03-5445-9634 FAX : 03-5455-9635
e-mail : sitfriends@shibaura-koyu.jp

芝浦工業大学創立 90 周年記念誌



2017年の創立90周年を記念し、「芝浦工業大学創立90周年記念誌」を発行いたしました。本誌では、これまでの歩みを振り返りつつ、本学が大きく発展を遂げたこの10年の取り組みを概観することで、創立100周年に向けたこれからの姿勢を示しています。



価格は1部 ¥2,000 円
お申込みは、以下までお願いします。
芝浦工業大学 校友会
TEL : 03-5445-9634 FAX : 03-5455-9635
e-mail : sitfriends@shibaura-koyu.jp

在校生就職支援ご協力のお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を設置し就職支援活動を実施しております。芝浦工大は就職率が高い大学ですが、就職率100%にはまだ至っておりません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い申し上げます。12月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友の皆様へご協力をお願い申し上げます。

- 1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
- 2、校友会事務局へ提出
- 3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
- 4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
- 5、学生と企業で出願、選考
- 6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、広く学生にPRをしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、平成30年3月現在、校友会を通した求人企業数は「約151社」でした。そのうち、内定者は10名でした。全国の関係者の皆様、誠にありがとうございました。

求人申込書：<http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78>
 送付先：〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
 E-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp
 T e l : (03) 5445-9634 F a x : (03) 5445-9635

編集者・協力者 一覧

順不同、敬称略

◆編集者

芝浦工業大学校友会 総務広報委員会

林田 和雄 (昭和52年 建築学科卒)
 小平和一郎 (昭和45年 電子工学科卒)
 佐野 茂彰 (昭和48年 機械工学科卒)
 中根 眞行 (昭和55年 工業経営学科卒)
 佐藤 勝 (昭和62年 二部機械工学科卒)
 藤田 利行 (昭和62年 電気工学科卒)
 大森 隆広 (昭和63年 建築工学科卒)
 安藤 吉伸 (平成1年 機械工学科卒)
 中川 雅史 (平成12年 土木工学科卒)
 今井 理裕 (平成14年 材料工学専攻卒)
 滝下 勇 (平成16年 二部電気設備学科卒)
 島山 佳代 (平成17年 環境システム学科卒)
 川野 亜希 (平成23年 応用化学科卒)
 顧問 泉澤 定雄 (昭和46年 建築学科卒)

校友会本部事務局

野上 宏明 (昭和51年 金属工学科卒)
 宮坂 文枝
 中瀬古幸子

空調調和・給排水・冷凍冷蔵
設備の設計・施工・保守




〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号
TEL 03-6429-3600
不二熱学工業株式会社

緑化事業を通じて
就労支援を行っております



株式会社アカネ
代表取締役 金子 和平
(昭和44年 経営工学科卒)

http://akane-green.co.jp

想いをかたちに 未来へつなぐ



TAKENAKA

竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1



ENVIRONMENTAL ENGINEERING

空気と水の環境創造企業
三建設備工業

本社 東京都中央区新川 1-17-21
TEL 03 (6280) 2561
URL http://sken.jp/



明日の「働く」を、デザインする。
We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.

株式会社イトーキ
東京都中央区入船3-2-10 〒104-0042
お客様相談センター ☎ 0120-164177 URL http://www.itoki.jp/

変わり続けるDNA




六興電気株式会社
代表執行役社長 長江 洋一

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 / TEL:03-3459-3366 / URL:http://www.6kou.co.jp

芝浦工業大学の多くの卒業生が
当学院で合格を勝ち取っています!

inter-live!
Face to Face!



平成29年度 1級建築士 設計製図試験

他講習
利用者
+
独学者

当学院
当年度
受講生

芝浦工業
大学卒業生
合格者受講率

64.7%

卒業生合格者のおよそ3人に2人が当学院当年度受講生!
卒業生合格者102名中、当学院当年度受講生 66名

平成29年度 1級建築士 試験 (平成29年度
学科+設計製図)

No.1

東京都
ストレート
合格者占有率

74.0%

東京都ストレート合格者439名中/総合資格学院当年度受講生325名

<平成29年12月21日現在>

平成29年度 2級建築士 設計製図試験

当学院基準達成

当学院基準達成当年度受講生

当年度受講生 合格率

71.7%

その差
約24%

当学院基準達成当年度受講生
以外の受験生 合格率

47.8%

8割出席・8割宿題提出
当年度受講生2,438名中、合格者1,747名

当学院基準達成当年度受講生
以外の受験生8,399名中、合格者4,016名

<平成29年12月7日現在>

※卒業学校別合格者数は、試験実施機関である(財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。※総合資格学院の合格者数には、「2級建築士」等を受験資格として申し込まれた方も含まれている可能性があります。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。<平成29年12月21日現在>

無料 体験入学会・講座説明会実施中!!

建築士	建築設備士	施工管理技士
構造/設備設計1級建築士	インテリアコーディネーター	宅地建物取引士

全国約90拠点で開催!! ※法人向け一括管理サービスなども提供
詳しくは最寄校まで気軽にお問い合わせください。

監理技術者講習	宅建登録講習	宅建登録実務講習
建築士定期講習	管理建築士講習	第一種電気工事士定期講習

法人サポートサービス

企業の将来を担う、若手技術者の育成にご協力いたします。

- ▶ 育成オリジナルプラン作成
- ▶ 各種合格ガイダンス
- ▶ Web学習サービス
- ▶ 模擬試験・社内講習会 他

学校・学生サポートサービス

総合資格学院は全国の建設系学生を応援しています。

- ▶ 学生向け建設情報誌の発行
- ▶ 建設業界就職セミナーの実施
- ▶ 建設系イベント支援
- ▶ 大学・研究室支援

総合資格学院

スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp



新宿校 TEL.03-3340-5671
池袋校 TEL.03-3982-8211
上野校 TEL.03-3832-7201
吉祥寺校 TEL.0422-23-6011

五反田校 TEL.03-6408-9711
立川校 TEL.042-524-7841
北千住校 TEL.03-5284-3911
町田校 TEL.042-724-3061

おかげさまで「1級建築士合格者数日本一」を達成し続けています。これからも有資格者の育成を通じて、業界の発展に貢献して参ります。

総合資格学院 学院長 岸 隆司



MitteiLife
株式会社ニッテイライフ

不動産建設 芝浦会
代表取締役 **佐藤 隆之**
(H2 工業経営 卒)

本社 東京都新宿区新宿 6-28-7 新宿イーストコート 3階
〒160-0022 TEL.03-4589-6911 FAX.03-4589-6312
目黒支店 東京都目黒区目黒 1-4-11 目黒NTビルディング1階
〒153-0063 TEL.03-6420-0081 FAX.03-6420-0085
高円寺支店 東京都杉並区高円寺南 4-26-16 芦野ビル 3階
〒166-0003 TEL.03-6383-1771 FAX.03-6383-1882

Joyous Life
創業大正十三年 **正直屋**
グループ

**パーティ、高級住出し、
会議用弁当は正直屋に
おまかせください!**

●ご注文・お問い合わせは
東京正直屋
0120-33-1171
<http://www.shojikiya.co.jp/>

なくてはならない企業、
トビシマ。

トビシマは、高度な防災・減災技術を進化させ、
安全で安心な都市と環境のために
みなさまと共に明日を描き続けます。

飛島建設 本社/〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
TEL.03-6455-8300 <http://www.tobishima.co.jp>

竹中工務店グループ
TAKENAKA

建物を育て 未来へつなぐ

アサヒ ファシリテイズ

建物維持管理事業 / 不動産事業 / 保険代理事業

本社：〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目5番14号
TEL.(03)5683-1181

営業拠点：札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・京都・神戸・高松・広島・福岡

環境チャレンジ!
TakasaGo!

高砂熱学工業株式会社

代表取締役会長兼社長執行役員 **大内 厚**

東京都新宿区新宿 6-27-30
新宿イーストサイドスクエア 12階
電話 03 (6369) 8212
<https://www.tte-net.com>

**業務用酒類食材卸
宮内庁御用達
享保2年(1717年)創業**

株式会社 **ぬ利彦**

代表取締役 九代目 中澤彦七
東京都中央区京橋2丁目9番2号
電話 (3535) 5311 (代表)

成長と連携
—新創業期—

日本金属グループは、永年培ってきた
圧延・加工技術と情熱で新しい価値を創出し
いつまでも輝き続ける企業を目指します。
市場の変化に機敏に対応できる人材の育成と
幅広いパートナーとの連携により、
世界のお客さまの課題解決に
迅速にお応えしてまいります。

日本金属株式会社
<http://www.nipponkinzoku.co.jp/>

本社：〒108-0014 東京都港区芝5-30-7 TEL.03-5765-8111(大代表)
大阪支店：TEL.06-7711-6133 名古屋営業所：TEL.052-962-6671

KQMI 品質経営と改善
自動車・航空宇宙産業への支援 (IATF16949, JISQ9100)

株式会社 熊谷QMインダストリ

代表取締役 **鯨井 武** (昭和54年通信工学科卒)

技術士(経営工学科門)
ISO9001:2015 IRCA認定審査員補、委託審査員
(一社)ものづくり改善ネットワーク 改善インストラクター
〒360-0032 熊谷市銀座6-6-14
tkujirai@green.ocn.ne.jp / 090-1422-5670

ジャンプロテクショングループは
お客様へ「安全」「安心」「信頼」をお届けします

警備業を軸に環境事業・人材派遣・調査の
トータルマネジメントサービスを提供する

ジャンプロテクション株式会社
102-0004 東京都千代田区二番町5-7 JP本社ビル
03-3265-6861(代) <http://www.jp-group.jp>

株式会社IMA建築設計事務所

岐阜 日本料理 **みず**

地元の素材を厳選し、地味溢れるお料理で皆様をお迎えしております。

岐阜県岐阜市 米屋町25
Tel 058-265-3601

勤務地：〒114-0023
東京都北区滝野川17-22-6 IMAビル6F
TEL 03-5567-2222 FAX 03-5567-2221
URL: <http://www.ima-a.co.jp/>

岐阜支部長 **平井良樹**
1982年 工業経営学科 卒

ファサードエンジニアリングのリーディングカンパニー

AGB 旭ビルウォール株式会社
URL: <http://www.agb.co.jp>

特別顧問
校友会会長 **鈴見 健夫** (S45 建築)

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-3-5 JPR 上野イーストビル 8階
TEL.03-5806-3110 FAX.03-5806-9688

人を想い、場を創る。
OKamura

株式会社オカムラ 日本橋支店
東京都中央区京橋 2-1-3
京橋トラストタワー 11階
TEL:03-3246-2411 FAX:03-3246-2419
<http://www.okamura.co.jp/>

MIZUHO

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島

鹿島建設株式会社
鹿島建設株式会社横浜支店

代表取締役社長
専務執行役員支店長

押味至一
野村高男



三井住友建設
http://www.smcon.co.jp

はしも、 まちも、 ひとも。

橋をわたり、街をあるき、大切な人とごす。
そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。



人が集うところに、
コトブキのイスがあります。

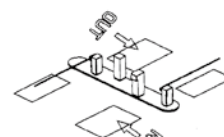
K+O+T+O+B+U+K+I



コトブキシーティング株式会社
東京都千代田区神田駿河台1-2-1
www.kotobuki-seating.co.jp

駐車場システム設計・施工・販売

株式会社
カズサッポロ
(日本信号株式会社代理店)



代表取締役
小川 博司 (S45年工業経営)
〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条1丁目7番19号
TEL (011) 853-5152 FAX (011) 853-5454

—警備保障—
(常駐、交通誘導、施設警備)

アムス警備株式会社

代表取締役 森川 理
(昭和47年電子卒)

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-16-4
TEL03-3917-6231
FAX03-3917-6356

—顧客満足度・地域No.1を目指して—



ISHIKAWA
総合建設業
石川建設株式会社

代表取締役社長 石川 雅之

本社 〒373-0853
群馬県太田市浜町10番33号
0276-45-1621(代)
URL http://www.ishikawa-inc.co.jp



戸田建設



TODA Group Global Vision

“喜び”を実現する企業グループ

電気設備の設計から施工まで
創業大正12年(1923年)

三興電気株式会社

代表取締役 吉田 聡
東京都中央区銀座7-13-5
電話 03-3547-5980



加工開発のメーカーです。
セラミックスの加工は
当社へご相談ください。

取締役会長 小貫 諭
(1975 工科卒 1977 工科 修士修了)

群馬セラミックス株式会社

〒375-0055
群馬県藤岡市白石1444
Tel 0274-22-2096 Fax 0274-24-4974
http://www.guncera.co.jp

SET SEテクノ株式会社

(機械工学科43年卒)
代表取締役会長
畠中 総一郎

〒101-0047
東京都千代田区神田紺屋町21番地 高山ビル2F
TEL 03-6821-9560 FAX 03-5577-5675
E-mail: bz956087@bz03.plala.or.jp

代表 **神尾 雅陽**
昭和57年 建築学科卒

〒311-2215
茨城県鹿嶋市和825-2
株式会社 くぬぎの森
有限会社 エスエス住建
TEL 0299-90-9900
FAX 0299-90-9955
mail kunuginomori@ab.wakwak.com

人、街、社会、地球に優しい空間づくり

<総合ビルメンテナンス>

株式会社 Jリマビシステム

代表取締役社長 鴻 義久(昭和47年 土木工卒)

[本社] 〒220-8116
横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー16階
TEL:045(224)3550



http://www.bstem.co.jp



有限会社 ワンダー電機製作所

機械工学科同窓会支部長
(機械工学科43年卒)
取締役社長 **畠中 総一郎**

本社・工場 神奈川横浜都筑区池辺町4691番地
〒224-0063 TEL.045-482-4916 FAX.045-482-4917
神田事務所 東京都千代田区神田紺屋町21番地 高山ビル2F
〒101-0047 TEL.03-6821-9560 FAX.03-5577-5675
川崎事務所 神奈川県川崎市宮前区野川2290-2
〒216-0001 TEL/FAX 044-797-2795
DoCoMo 090-4848-5981
E-mail: bz956087@bz03.plala.or.jp

最適環境空間を最新の技術でお届け致します。



三宝電機株式会社
SANPO
URL: http://www.seamec.co.jp

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京都港区西新橋3-8-3ランティック新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311

次の100年に向け、技術とともに歩む。




東光電気工事株式会社
TOKO ELECTRICAL CONSTRUCTION CO., LTD.

- 内線事業 ●外線事業 ●再エネ事業
- 空調・衛生事業 ●海外事業 ●事業開発

本社 〒101-8350 東京都千代田区西神田1丁目4番5号 TEL (03)3292-2111
http://www.tokodenko.co.jp/

<p>2020年に100周年を迎えます。</p> <p>尾畑長硝子株式会社</p> <p>代表取締役社長 尾畑 雄二郎 (昭和46年 建築学科卒)</p> <p>〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目25番28号 TEL : 052-261-1721 FAX : 052-241-1440</p>	<p>杭工事全般 設計・施工一式 ○コンクリートパイル各種高支持力工法 ○中低層建設物基礎・狭路地対応工法 ・EAZET工法(鋼管杭回転埋設) ・ATTコラム工法(コラム+羽付き鋼管)</p> <p>生和テクノス株式会社 代表取締役 佐藤 正行</p> <p>本社 〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵3丁目1番2号 TEL(048)864-1731 FAX(048)864-2365</p> <p>分室 〒125-0062 東京都葛飾区青戸5丁目19番9号 TEL(03)6662-9130 FAX(03)6662-9135</p>	<p>KOKUYO</p> <p>ひらめき・はかどり・こちよさ</p> <hr/> <p>ココヨマーケティング株式会社 〒100-6018 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング18階</p>
<p>建築とまちづくり</p> <p>株式会社 アルセッド建築研究所</p> <p>代表取締役 所長 三井所 清典 代表取締役 副所長 大倉 靖彦</p> <p>〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目20番1号 電話 03-3409-4532 FAX 03-3409-3394 http://www.alsed.co.jp</p>	<p>山形の手作りの地酒</p> <p>朝日川酒造株式会社</p> <p>山形県西村山郡河北町谷地乙93</p>	<p>技術経営人財の育成と活用</p> <p>一般財団法人 アーネスト育成財団</p> <p>理事長 西河 洋一 (平成21年大学院 MOT 修了) 専務理事 小平 和一朗 (昭和45年電子工学科卒業) 理事 浅野 昌宏 (昭和44年電子工学科卒業) 評議員 柴田 智宏 (平成17年大学院 MOT 修了) 顧問 吉久保 誠一 (昭和39年機械工学科卒業)</p> <p>東京都渋谷区代々木1-57-2 704号 TEL(03)6276-6260 http://www.eufd.org</p>
<p>TACY</p> <p>世界初の多能式自動券売機を開発 (日本機械学会 機械遺産「第50号」認定) 交通システム機器のハイオニア</p> <p>高見沢サノバネットワークス 代表取締役社長 高見澤 和夫</p> <p>〒164-0011 東京都中野区中央2丁目4番5号 TEL 03-3227-3361 URL http://www.tacy.co.jp</p>	<p>地球環境を大切に する 日本環境設計</p> <p>代表取締役社長 加藤 善次郎 (昭和55年機械卒)</p> <p>〒231-0028 横浜市中区翁町2-9 ファム横浜本社ビル5階 TEL (045) 212-2757 (代) FAX (045) 212-2758</p>	<p>総合建築・耐震・リニューアル・専門工事</p> <p>中島建工株式会社</p> <p>代表取締役 中島 道宏</p> <p>埼玉県さいたま市浦和区領家5-12-20 TEL 048-886-8877</p> <p>http://www.nakajimakenko.co.jp/</p>
<p>Kinden</p> <p>きんでん</p> <p>東京支社</p> <p>常務執行役員 支社長 上坂 隆勇</p>	<p>HR 永い歴史と経験に培われた技術力で HAYASHI-REPIC 皆様のご期待に沿えますよう全力を尽くして参ります</p> <p>ハヤシレピック株式会社 旧林時計工業(株) 本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1丁目28番3号 TEL : 03-3918-5237 URL: http://www.h-repic.co.jp</p> <p>第1事業部 ルミナーエース(光源), LED照明, 電動ドライバー 第2事業部 ペルチェ式電子クーラー, デジタル温度調節器 第3事業部 半導体組立, 厚膜印刷 第4事業部 同軸コネクタ, ケーブル, スイッチ, センサー, チェンパー 第5事業部 パーツフィーダー, 省力化装置, プレス部品, 各種組立作業</p> <p>連絡先: 安田俊司 平成4年機械二科卒 s-yasuda@h-repic.co.jp 校友会相談役 金井昭三 昭和41年機械二科卒 sho-kanai@sky.plala.or.jp</p>	<p>さらなる安心と信頼のために大きく生まれ変わりました。</p> <p>私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。</p> <p>野村不動産パートナーズ</p> <p>〒163-0562 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号 新宿野村ビル8階 教育施設事業部 TEL03(3345)0672 http://www.nomura-pt.co.jp</p>
<p>私も張りましました。</p> <p>1級建築士合格/平岡里奈子さん</p> <p>建築士・宅建士・各種施工管理技士</p> <p>日建学院</p>	<p>日建学院は、芝浦工業大学卒業生を応援します!! 校友会様との提携により、講座を特別学費で提供しています。詳しくは、校友会HPでご確認下さい。</p> <p>日建学院コールセンター 0120-243-229</p> <p>株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)</p>	<p>We Find the Way</p> <p>日本通運 NIPPON EXPRESS</p> <p>日本通運株式会社 東京オフィス・サービス支店秋葉原事業所営業課 〒114-0013 東京都北区東田端2丁目15番8号 連絡先 03-5901-9022 URL http://www.nittsu.co.jp</p>

KIMURA
あおもりの未来へ、エールをおくろう。

総合建設業

株式会社 木村建設

代表取締役 木村 喜有
(昭和44年土木工学科卒)

〒030-0902
青森県青森市合浦二丁目19番21号
TEL: 017-741-5244
FAX: 017-741-5230
URL: <http://www.kimken.co.jp/>

不動産建設芝浦会

本会は卒業生同士の交流を深め、互いのビジネスをより活発にすることを目的とした会です。建設業や不動産業に興味ある方であれば学部・学科問わず幅広い年齢、業種の方にご参加頂けます。

支部長 清水修司 [S44 建築卒]

副支部長 西河洋一 [H22 MOT 卒] 副支部長 橋本雅夫 [S45 建築卒]

副支部長 佐藤隆之 [H2 工経卒] 副支部長 森大助 [S58 建築卒]

公式 HP : <https://shibaurakai.net/>

事務局 : TEL 03-3485-1111 (株) SD 建築企画研究所内)

株式会社 TAW建築設計事務所

代表取締役 渡辺 碩
昭和45年建築学科卒

TAW

〒111-0042
東京都台東区寿2-8-11 リッチライフビル5F
TEL: 03-3841-7368 FAX: 03-3841-7107
E-mail : taw@mvd.biglobe.ne.jp

ISUZU

「運ぶ」を支える
グローバルカンパニー



いすゞ自動車株式会社
〒140-8722
東京都品川区南大井 6-26-1
大森ベルポート A 館
<http://www.isuzu.co.jp/>

TOKYO-THERMAL

空気調和・衛生設備設計施工

株式会社 東京サーマル

〒108-0075
東京都港区港南1-6-34 品川イースト3F
TEL: 03-6712-0877 (代表)
URL: <http://www.tokyo-thermal.co.jp>

UCHIDA

内田洋行

高等教育事業部

〒135-0016
東京都江東区東陽2-3-25
TEL 03(5634)6292
FAX 03(5634)6865

「男と女のワイン術」
伊藤博之・柴田さなえ著
日本経済新聞出版社刊



わいん厨房
たるたる

予約用アドレス tartar@nsl@gmail.com
営業時間 ●PM 6:00~AM 2:00 (土日祝 PM 3:00~)
東京都中央区銀座9-12-1セイコー銀座ビル2F TEL: 03-5565-9898

株式会社 遠藤製作所

(昭和43年卒 機械工学科)

代表取締役社長 遠藤 亘持
ENDOH NOBUYOSHI

〒362-0058 埼玉県上尾市上野 537 番地
TEL 048 (725) 2061(代)
FAX 048 (725) 2063
E-mail : info@endohss.com
<http://www.endohss.com>

DAIHO CORPORATION

人と地球の未来のために。

地球の未来と発展のために、人と自然の調和を創造する、エンジニアリング・コンストラクターであり続けたい……それが、私たちの願いであり、使命と考えています。

大豊建設株式会社

〒104-8289 東京都中央区新川1-24-4
TEL 03-3297-7000
<http://www.daiho.co.jp/>

執行役員 東京土木支店長 竹内 清
(昭和56年土木工学科卒)

消防用設備施工保守管理

赤城工業株式会社

東京都板橋区氷川町43-4
TEL 03(3963)3711(代表)

金属・材料工学科有志会

吉池 富士夫
S51年 金属工学科卒

依田 幸秀
S51年 金属工学科卒

野上 宏明
S51年 金属工学科卒

中島 毅
H14年 材料工学科卒

電気通信設備工事・電気工事のことならお任せ下さい

お客様の多様なご要望に対応し何でもできる
小回りのきく小さな技術集団です

IZUMIコミュニケーションサービス株式会社
代表取締役社長 大橋 晃

〒144-0052 東京都大田区蒲田一丁目7番10号IZUMIビル
TEL : 03-5714-0692
URL <http://www.y-jet.co.jp>

TOHZAI

H₂O TREATMENT

東西化学産業株式会社

本社/〒540-6118 大阪市中央区城見2-1-61
(ツイン21MIDタワー18階)
TEL.(06)6947-5511 FAX.(06)6947-5510

時代にまっすぐ、技術にまじめです。

hibiya

日比谷総合設備株式会社

〒108-6312
東京都港区三田3-5-27住友不動産三田ソインビル西館
<http://www.hibiya-eng.co.jp/>

**1年で、
45,000戸を
建てる。**

分譲住宅、日本一^{※1}
IGC 飯田グループホールディングス
 代表取締役社長 **西河 洋一**
 〒163-0246 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル46階
 tel 03-5989-0923 <http://www.ighd.co.jp>
※1 分譲住宅、注文住宅、マンションの合計
 ※2 分譲戸建住宅市場におけるシェア日本一(2016年度住宅産業研究所調べ)

一建設株式会社

代表取締役社長 **堀口 忠美**
 東京都豊島区南池袋2-25-5
 TEL 03-5393-3071
 URL <http://www.hajime-kensetsu.co.jp>

株式会社 飯田産業

代表取締役社長 **兼井 雅史**
 東京都武蔵野市境2-2-2
 TEL 0422-36-8848
 URL <http://www.iidasangyo.co.jp>

株式会社 東栄住宅

代表取締役社長 **西野 弘**
 東京都西東京市芝久保町4-26-3
 TEL 042-463-0220
 URL <http://www.touei.co.jp>

タクトホーム株式会社

代表取締役社長 **小寺 一裕**
 東京都西東京市東伏見3-6-19
 TEL 042-464-8788
 URL <http://www.tacthome.co.jp>

株式会社 アーネストワン

代表取締役社長 **松林 重行**
 東京都西東京市北原町3-2-22
 TEL 042-461-6288
 URL <http://www.arnest1.co.jp>

アイディホーム株式会社

代表取締役社長 **久林 欣也**
 東京都新宿区高田馬場3-46-25
 TEL 03-5337-6988
 URL <http://www.idhome.co.jp>

KANTO
 皆様の安心安全を乗せて...

関東自動車株式会社
 埼玉県さいたま市浦和区仲町2-3-19
 TEL : 048-831-2611
 FAX : 048-825-6620
 E-mail : info@kanto-m.co.jp
 URL : <http://www.kanto-m.co.jp>

Quality gives priority to all
白石建設株式会社

いい建築ってなんだろう？

〒166-8540
 東京都杉並区高円寺南4-15-11
 TEL: 03-3314-1101(代表)
<http://www.shiraiishi-ken.co.jp>

APEC 総合建築設備業 戸田建設グループ
株式会社アペックエンジニアリング

代表取締役社長 **神野 兼次**

東京本部：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-6-1 八丁堀センタービル 4F
 TEL 03-6222-2830 FAX 03-6222-2840

情報通信コンサルタント
パルス・オブ・ドリーム株式会社

代表取締役
井上 正教
 (昭和38年 電気工学科卒)

〒286-0018 成田市吾妻 1-31-5
 TEL・FAX.0476-26-7972

代表取締役
泉澤 定雄
 (昭和46年 建築学科卒)

有限会社
藍 建築工房

〒101-0025
 東京都千代田区神田佐久間町3-21-7
 熊谷ビル 3F
 TEL 03-5825-6118
 FAX 03-5825-6119



SIT SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
 学校法人芝浦工業大学 事業法人
株式会社エスアイテック

代表取締役 **鈴見 健夫**
 (芝浦工業大学 校友会 会長)

お仕事紹介・転職支援をお手伝いします
技術人材募集・登録受付中

芝工大 人材

TEL : 03-5859-7930 (金澤・松井)
 URL : <http://www.sitech-jp.com/recruit.php>

<p>株式会社 あおぞら 東京都宅地建物取引業協会会員 東京都知事免許(1)第99345号</p> <p>代表取締役 橋本 雅夫 (S45 建築)</p> <p>宅地建物取引士</p> <p>〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-2-4-102 携 帯 090-3687-0510 T e l 03-3460-8500 F a x 03-3460-8531 E-mail: gaohhashimoto@me.com</p>	<p>快適な環境づくりに 確かな技術で貢献する</p> <p> 住友電設株式会社</p> <p>取締役社長 坂崎 全男</p> <p>http://www.sem.co.jp/</p>	<p>長州萩の美酒 長陽福娘</p> <p></p> <p>岩崎酒造株式会社 代表取締役 岩崎喜一郎 山口県萩市大字東田町 58 番地 TEL0838-22-0024</p>	<p>清水建設芝浦会</p> <p>支部長 中村行男 (S56年建築科卒)</p>
--	---	---	---

天・地・人を熟知し、環境をつくる。



株式会社 丸西組

代表取締役社長 西 正次 (昭和四九年卒業)

石川県小松市白江町ト121-1

TEL (0761) 22-6100 FAX (0761) 22-6123

<http://www.marunishigumi.co.jp>

高速&低コストのカラープリントで、
学校教育の質を上げる。



■フルカラー毎分160枚*1の高速プリント
■フルカラー 1枚1.44円*2、モノクロ1枚0.50円*2



ORPHIS GD

*1:オプティクスGD9630/9631の場合、A4普通紙片面複写(標準設定連続プリント、GDフェイスワーク・排紙トレイ使用時、2017年6月現在発売の機種(外装)オプティクス用カラープリンターにおいて世界最速(当社調べ)。*2:A4普通紙片面、RISO GD シック使用時、カラーは解像度300dpi、測定高解にISO/IEC24712に定める「ターゲ」を使用し、ISO/IEC24711に基づき測定方法によって算出。モノクロは解像度600dpi、測定高解にISO/IEC19752に定める「ターゲ」を使用し、ISO/IEC24711に基づき測定方法によって算出。用紙代別。*写真はオプティクスGD9630オプション接続時。

理想科学工業株式会社 理想三田支店
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル18F
TEL. 03-3453-2241 FAX.03-3453-7981 <http://www.riso.co.jp/>

安全に、やさしさを



代表取締役社長 笹嶋敏之

〒110-0015
東京都台東区東上野 2-18-10
TEL.03-5817-5300

<http://www.naka-kogyo.co.jp>

いい仕事には、体温がある。



取締役会長 小川 達生
(昭和51年 通信卒)

株式会社 日新コンピュータシステム

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-5802-0321
FAX 03-5802-0322
URL <http://www.nisin.co.jp/>

JRいわき駅より徒歩1分

HOTEL IWAKI

〒970-8026
福島県いわき市平字白銀町8-9
TEL FAX
0246-23-3188 0246-23-3128
HPからのご予約
<http://www.hotel-iwaki.com/>

祝 卒50周年記念クラス会

機械工学科43会
熱海集合9月9~10日
会長 島中 總一郎
クラス会主催幹事
郡司 卓臣
(090-2412-2193 郡司)
森田 巖 鈴木 俊一
遠藤 亘持

事務局
〒101-0047
千代田区神田紺屋町21番地 高山ビル2F

一般法人・医療法人・学校法人等決算業務
相続税、贈与税申告及び事前対策・M&A等
同族法人等株価対策・その他資産税全般

朱田 税務 会計 事務所

税理士 朱田 光洋
(芝浦工業大学評議員)

税理士 坂本 幸久

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目1番10号
西勤本店ビル4F

TEL 03-3548-3315 FAX 3548-3316

(株)宮建築設計

代表取締役 宮本 博

昭和47年卒 建築学科
(校友会 徳島県支部長)

本 社：徳島市福島 1-5-6 TEL:088-625-5505
東京本店：東京都中央区八丁堀 2-28-10 TEL:03-6280-3305
<http://www.miyasekkei.com>
E-mail:miyamoto@miyasekkei.com


 火の安心を、つくろう。
Wishing for Your Safety

さあ、次の100年へ。

100th
Anniversary

ヤマトフロテック株式会社

造園設計施工・緑化土木事業
株式会社

 豊橋園芸ガーデン

<http://www.garden-g.com/>

代表取締役会長 榊原 周造
(1970年卒 建築工学科)

豊橋本社
〒441-8077 豊橋市神野新田町水神下64
TEL: 0532-45-6679 FAX: 0532-48-5613
名古屋事業所
〒466-0016 名古屋市中区北山本町1-18
TEL: 052-734-2445 FAX: 052-734-2257
知多事業所
〒470-2203 知多郡阿久比町板山ノ海道山16-4
TEL: 0569-47-1220 FAX: 0569-47-1221

**BADGE & MEDAL
FACTORY**

NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.

since 1918

有限会社 中島徽章

代表取締役 中島 博行
(昭和60年 金属科卒)

〒111-0036 東京都台東区松が谷2-16-3
EL 03-3844-2207 Fax 03-3845-5005
<http://members2.jcom.home.ne.jp/n-kisho/>

LIXIL

Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の
未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>



創業1586年

技術・信用・伝統・新しい力へ...

松井建設株式会社

〒104-8281 東京都中央区新川1丁目17-22
TEL : 本社 (03)3553-1150 東京支店 (03)3553-1171
ホームページ <http://www.matsui-ken.co.jp/>

NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED

日建設計

代表取締役社長 亀井忠夫

東京都千代田区飯田橋2-18-3 <http://www.nikken.jp>

応援したい人がいるって
しあわせなことだと思います。



あなたが声援を
送っている人は誰ですか？
挑戦する人を声援しよう。
応援する人を声援しよう。

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

www.ms-ins.com

ARによる印刷・IT・映像の **Re:活用** は
廣清堂にお任せください!

ARで今までの印刷物が変わります!!

広報・宣伝	自治体	施設
POP・チラシ × 情報サイト	パンフレット × ARスタンプラリー	ポスター総選挙 × ARクーポン

POPやチラシをARマークに
対応、最新機種のスマートフォンに
読み取ることができるので、両面印刷の
効果もつなげられます。

ARスタンプラリーを印刷し、印刷し
た紙をスマートフォンで読み取り、
ARマークを読み取ると、画面に
表示されるARコンテンツが動いたり
音がしたりします。

選挙のようにお店のポスターを
見て、ARクーポンがもらえる
了、お礼クーポンを発行すれば
来店特典もつなげられます。

廣清堂は様々なソリューションを提供しています。ARだけじゃない幅広いサービスもあわせてください。

印刷 Web システム アプリ VR 映像 イベント BPO アニメーション

(株)廣清堂 ソリューション本部
TEL 03-5484-8611 営業時間/月-金 9:00-17:00
ホームページ <http://www.service-kosaido.jp/>

大末建設株式会社



DAISUE HUMAN ARCHITECTURE

「大」きな安心「末」ながく

東京本店：〒136-8517 東京都江東区新砂1丁目7番27号
TEL 03-5634-9101

執行役員 鶴 浩一郎 (S63年卒 建築学科)



新日本リフォーム株式会社

- 大規模修繕工事 ●耐震補強設計・補強工事
- 給排水・空調設備工事
- 個人宅リフォーム工事

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-13 三建室町ビル4階
TEL:03-3241-8814 FAX:03-3270-1538
URL:<http://www.sn-reform.co.jp/> 担当：渡辺

大地とともに歩む
三井住建道路

THE WAY TO THE FUTURE

〒162-0055 東京都新宿区余丁町13番27号
三井住建道路株式会社
代表取締役社長 松井隆幸
TEL 03-3357-9081

三井住建道路は高い技術力により、生活・産業基盤の
整備事業を通じ、顧客満足度を高め、社会に貢献します。



PATISSERIE CREATIONS GATEAU FESTA HARADA

www.gateaufesta-harada.com

SMBC
三井住友銀行
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

人と地球にやさしい
環境制御・エネルギーの東テック
Totech Corporation

東テック株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-11-11
TEL:03-3242-3229(代表)
URL:<http://www.totech.co.jp>

豊かな環境をクリエイトする

扶桑電機株式会社

<http://www.fuso-denki.co.jp>



〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-8号 ☎045(472)0201代



芝浦工業大学 校友会